
西区まるごと博物館構想

～ 地域の宝をみんなの力でもっと輝かせるために～



平成17年5月
福岡市西区役所

目 次

第1章 構想の位置づけと役割	… 1
1 西区基本計画での位置づけ	… 1
2 構想の役割	… 2
第2章 西区の宝のいま	… 3
1 どのような宝(地域資源)があるのか	… 3
2 宝に関するこれまでの区での取り組み	… 6
第3章 西区の宝をもっと輝かせるために	… 7
1 いま西区に望まれること	… 8
2 実現するための3つのプラン	…13
プラン1 西区を魅(見)せよう	
プラン2 西区で動こう	
プラン3 西区を結ぼう	
第4章 構想のめざす姿は	…18

《 資 料 編 》

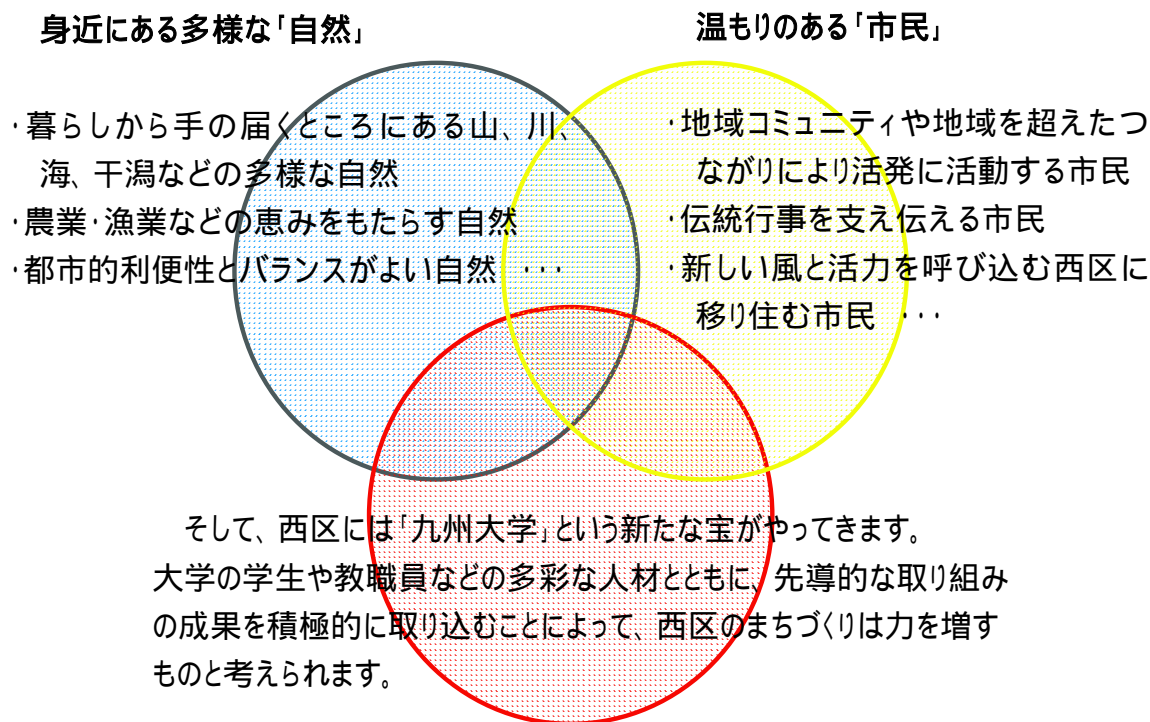
- A. 地域資源一覧
- B. 市民活動紹介
- C. 平成16年度:企画・実施ボランティア会合(ワークショップ)のまとめ

第1章 構想の位置づけと役割

1 西区基本計画での位置づけ

西区では、平成16年3月に「福岡市新・基本計画 西区基本計画」を策定し、2015年(平成27年)を目標年次として、区や地域の特性・課題を踏まえ、個性を活かした暮らしやすい、魅力ある地域づくりに向けた施策展開の方向性を示しました。

西区基本計画を策定する過程で、アンケートやワークショップなどによりたくさんの市民の皆さんに意見を伺った結果、西区の宝として「自然」と「市民」が浮かび上がりました。



西区基本計画では、「自然」、「市民」に、これから新たな宝となる「大学」を加え、3つの宝を市民と行政が共働で磨きあげてまちづくりに取り組んでいくこととしました。

〈西区の将来像〉

美しい水が“循環”し、温もりのある心が“交歓”し、魅力あるまちに“転換”する。

西区まるごと博物館構想(仮称)は、西区基本計画においてまちづくりの主要な取り組みのひとつとして推進するものとして、次のように掲げられています。

「西区まるごと博物館構想(仮称)」の推進

区内の自然、歴史、文化、産業などの、様々な有形・無形の地域資源を地域と行政の共働により保存・育成し、回遊性を持たせて一体的に「展示」することを通じて、魅力的で个性的なまちづくりを行うとともに、情報発信を積極的に行います。

地域資源、すなわち西区の宝をみんなで磨くまちづくり・・・
まさに、西区基本計画がめざす2015年(平成27年)に向けた西区のまちづくりを象徴するものといえます。

2 構想(仮称)の役割

では、実際にどのようにして西区の宝を磨いていくのでしょうか。宝を磨くのに、何が必要なのか。市民が何を担い、行政は何を担うのか。そして、市民と行政がどのように共働するのか。

この構想は、具体的な方法について考えるとともに、実現に向けて取り組むにあたっての計画書とするものです。

第2章 西区の宝のいま

1 どのような宝(地域資源)があるのか

西区に今ある宝の代表的なものを、「身近にある多様な『自然』」に包含される宝、「温もりのある『市民』」に包含される宝、その他の宝に分類して整理します。

1 「身近にある多様な『自然』」に包含される宝

a 自然

西区の自然は、日常生活の範囲の中、または近接するところに、多様に存在しているところが特徴です。それ故に都市的利便性を享受しながら、少し足をのばすだけで自然を楽しむことができます。

海（生の松原、長浜...）
 山（飯盛山、叶岳...）
 川（室見川、瑞梅寺川...）
 島（能古島、小呂島、玄界島...）
 今津干潟 など



今津湾

b 自然が生み出す食材

西区は農家戸数が全市の4割程度、漁業就業者数及び漁業生産量が全市の半分以上を占めており、食料供給地として様々な自然の恵みを生み出しています。

それらの自然の恵み達には、各地で行われている朝市や夕市で触れることができます。

朝市（花鯛郷・北崎朝市、今津ふれあい朝市、姪浜の朝市...）
 夕市（周船寺夕市、今宿やさい畑、能古の夕市...）

c 数多くの史跡、旧跡

西区を語る時、その歴史的資産を抜きにすることはできません。縄文時代の遺跡や、古代、中世の遺跡、近世の名残のある古い町並みなど数多くの史跡、旧跡が残されています。

国指定史跡(元寇防塁、今宿古墳群、野方遺跡、吉武高木遺跡、今山遺跡)
県指定史跡(宮崎安貞墓、元岡瓜尾貝塚)
市指定史跡(夫婦塚2号墳、能古焼古窯跡、草場古墳群)
指定史跡以外にも、史跡、旧跡が多数あります。



今津元寇防塁

2 「温もりのある『市民』」に包含される宝

a 数多くの民俗行事、伝統芸能

史跡、旧跡と並んで欠かすことのできない西区の歴史的な資産として、人々の手によって今にまで受け継がれている民俗行事、伝統芸能があります。福岡市で無形民俗文化財として指定を受けているもののうち、実に半数は西区に伝えられています。

県指定無形民俗文化財
(今津人形芝居、飯盛神社かゆ占)

市指定無形民俗文化財
(今宿青木獅子舞、元岡祇園ばやし、
飯盛神社流鏝馬行事...)

指定無形民俗文化財以外にも民俗行事、
伝統芸能が多数あります。



飯盛神社流鏝

b 地域活動

まちづくり活動支援事業(平成15年度で終了)や活力あるまちづくり事業、やる気応援事業(いずれも平成16年度から)により助成を受けている活動だけでも多くの地域活動が行われています。地縁によるコミュニティに根ざした活動のみならず、特定のテーマによる地域を超えた活動も行われています。

3 その他の宝

a 余暇を楽しむ場所

余暇を楽しむ施設もたくさんあります。どの場所も海や山など西区に特有の豊かな自然を身近に感じながら過ごせるところが多いです。

マリナシティ、小戸公園、
能古島アイランドパーク、
今津リフレッシュ農園、海づり公園
今宿野外活動センター
ひた生活領事館イン福岡 など



マリナシティ



能古島アイランドパーク

b 産業

窯元や製麺所、酒蔵などのユニークな産業の魅力も点在しています。



杉能舎酒造資料館

2 宝に関するこれまでの区での取り組み

1 区の魅力づくり事業「史跡の整備とネットワークづくり事業」

西区に住む市民が、「わがまち西区」に愛着と誇りを持てる個性的で魅力的なまちづくりを推進するため、西区の地域特性(豊かな自然、大陸文化伝来の地としての地域性・歴史性)を生かし、区内各所に点在する主要な史跡とその周辺文化財のネットワーク化を推進する各種事業を行ってきました。

a 史跡案内サインの設置、史跡散策(みどころ)マップの作成

西区内を6つの地区に分け、平成10年度から14年度にかけて、地区の史跡めぐりを行うのに便利な地区案内板、探訪地案内板、道標などを設置しました。また、あわせてその地区の史跡等のみどころや散策コースを案内したマップを作成しました。

これらは市民のみどころ散策に活用されています。

- ・能古地区 (H10)
- ・姪浜・愛宕・下山門地区 (H11)
- ・今宿・周船寺地区 (H12)
- ・今津・元岡地区 (H13)
- ・北崎地区 (H13)
- ・野方・金武地区 (H14)

b 歴史講座などの各種ソフト事業の実施

「西区史跡の整備とネットワークづくり」の推進のために、市民代表、学識経験者等で構成された「西区地域振興事業推進委員会」と区の共働により、歴史講座の開催や史跡を訪ねるバスハイク、市民歴史ガイド養成講座など様々なソフト事業を展開してきました。

成果の中でも、市民歴史ガイド養成講座の修了生の有志によって組織され、現在もボランティアガイドの活動を行っている「西区歴史よかとこ案内人連絡協議会」の存在は大変誇らしいものです。

2 「まちづくりフォーラム249(にしく)」の支援

自分の住むまちに愛着を持ち、新たな市民文化の創造と、よりよい市民のコミュニケーションをつくるための行動を通じ、西区内のまちづくりの推進に努めることを目的に、平成5年に組織された市民による団体「まちづくりフォーラム249(にしく)」の支援を行いました。

この団体は、特に音楽に関して熱心に活動され、「西区市民吹奏楽団」や「私の街のロビーコンサート」は「まちづくりフォーラム249(にしく)」が解散した今も独立して活動を行い、市民が音楽にふれる機会を提供しています。

第3章 西区の宝をもっと輝かせるために

～いま西区に望まれること、それを実現するための3つのプラン

1 いま西区に望まれること

2 実現するための3つのプラン

1 宝をたくさん掘り起こし、知らせるしくみ

a 18万人の気づきの力による宝の発掘

b 宝を整理し、総合的に知らせるしくみ

プラン1

西区を魅(見)せよう

2 市民と宝の関わりをつくり、深めるしくみ

a 宝の楽しさを増やし、人を惹きつける
付加価値づくり

b 宝へ深く関わる意欲を受けとめる、場
と機会の提供

プラン2

西区で動こう

発展形

3 宝と関わる市民のネットワークづくり

プラン3

西区を結ぼう

1 いま西区に望まれること

西区にはたくさんの宝が存在しています。その今の存在だけでも本当に誇らしいことですが、宝を守ったり、増やしたり、つなげたりして、宝をもっと輝かせていくという「動き」がなければ、西区は「まるごと博物館(仮称)」にはなれません。

そのために、いま必要なこととして次のようなことがあります。

1 宝をたくさん掘り起こし、知らせるしくみ

宝を輝かせるためには、まず宝の存在を多くの人に知ってもらうことが前提になります。宝をできるだけたくさん掘り起こし、知らせるためには何が必要でしょうか。

a 18万人の気づきの力による宝の発掘

前章に掲げた多くの宝は「たくさん」ではありますが、「すべて」ではありません。他にも知られていない宝が気づかれずに眠っているはずです。また、宝は未来に向かっても様々なジャンルや場所で生まれていくと思われます。そこで、知られざる宝、新しく生まれる宝をつねに発掘していく必要があります。

しかし、そのために、例えば区役所の1人の担当者がいつも歩いて、探して回るのは現実的に難しいことです。仮にそうしたとしても、発掘できる宝の数には限りがあります。

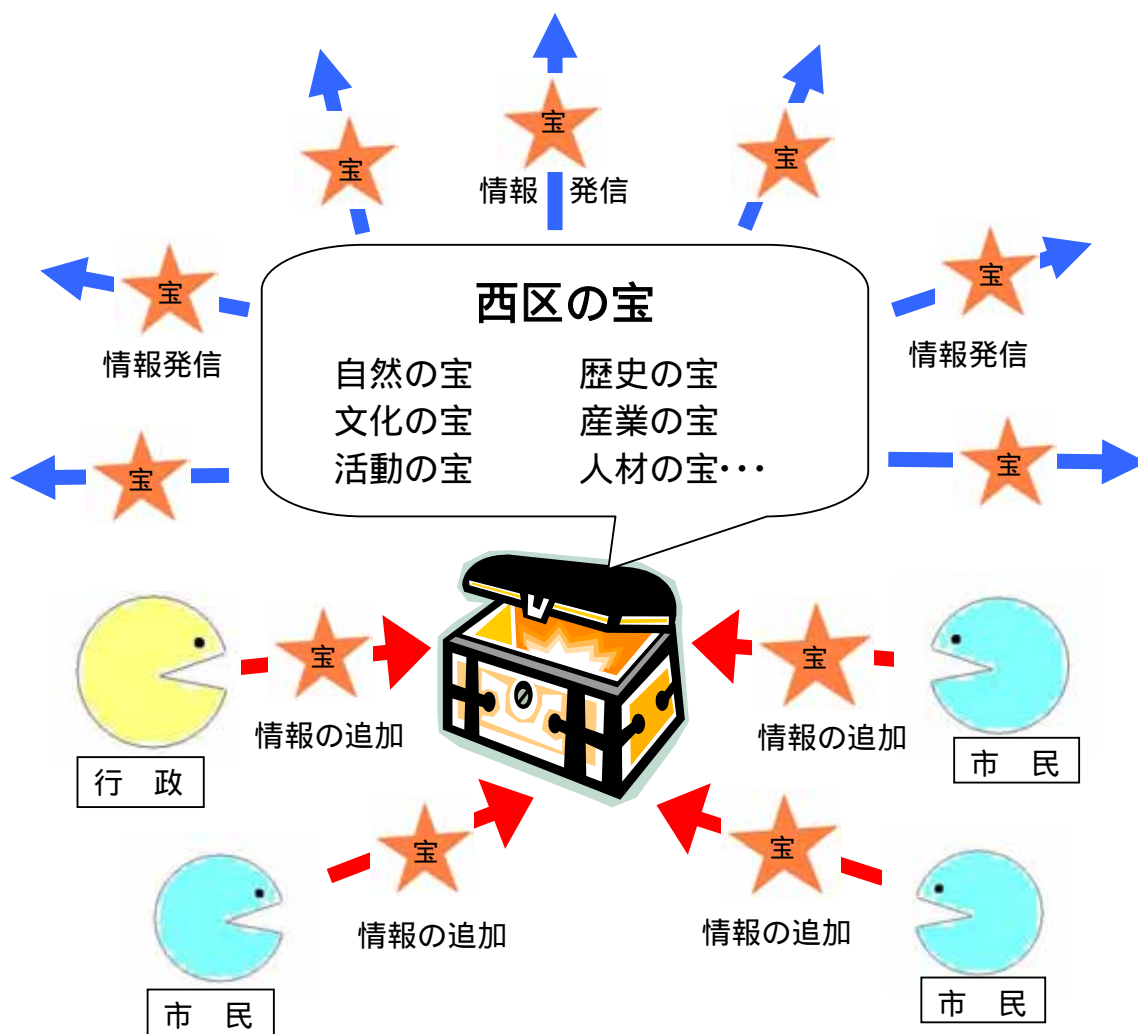
では、区役所の担当者1人ではなく、18万人の市民が宝を発掘すればどうでしょう。1人の気づきではなく、18万人の気づきの力を活用するのです。宝に身近なところで暮らしている市民が発掘すれば、宝の数は比べようのないほど多くなるでしょうし、発掘されるまでのスピードも格段に速くなるでしょう。

b 宝を整理し、総合的に知らせるしくみ

西区はこれまで、歴史の宝については「史跡の整備とネットワークづくり事業」により地区ごとに整理し、案内サインやリーフレットなどを作成・活用し、区内外の多くの人にその魅力を発信してきました。

しかし、その他の宝については、それぞれの業務で必要に応じて発見することはあっても、それを体系だて整理することはなく、また、それを広く知らせるといこともほとんどありませんでした。

新たに発掘した宝とあわせて、よりはば広いジャンルの宝について整理し、総合的に知らせるしくみができれば、宝のひろがりをも望むことができ、新たな宝の発掘へとつながっていくでしょう。



2 市民と宝の関わりをつくり、深めるしくみ

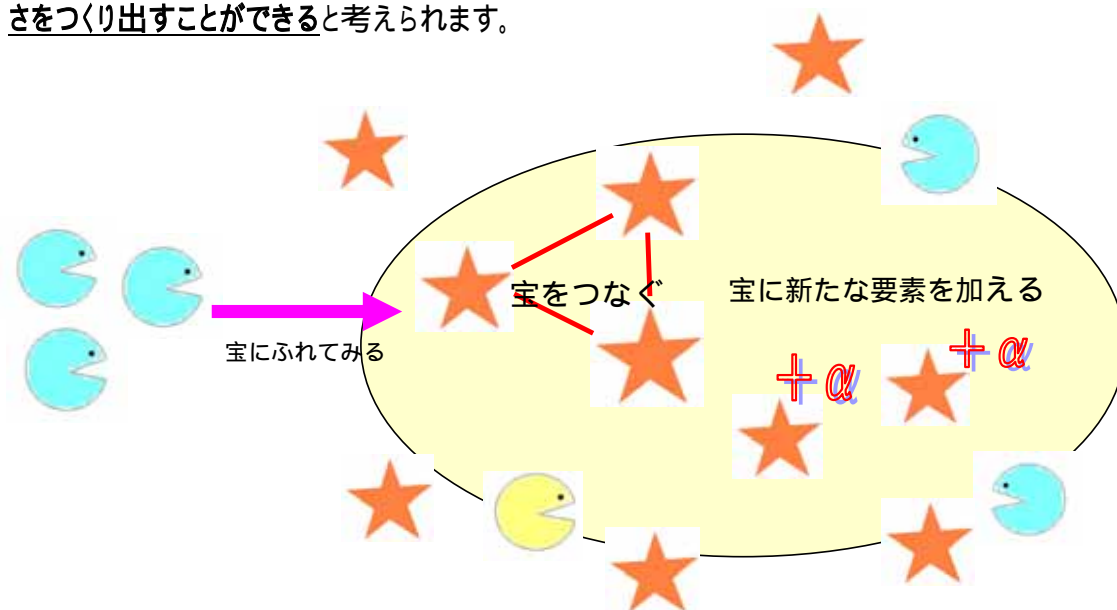
多くの人の気づきの力により宝を発掘し、情報発信することによって宝の存在がさらに多くの人に知られるようになったら、次は実際に宝に近づいて、宝と何らかの形で関わる人を増やしていくとともに、その関わりを深めていく必要があります。

a 宝の楽しさを増やし、人を惹きつける付加価値づくり

宝は、その存在だけでもすばらしいものですから、宝があるだけでそれなりに人を惹きつけます。

しかし、もっと楽しく、気軽に宝にふれることのできる仕掛けがあったらどうでしょうか。例えば、宝を見に行ったときに、その宝について説明してくれる人がいれば、楽しさはもっと増えるのではないのでしょうか。現に、史跡などの歴史の宝については「西区歴史よかとこ案内人連絡協議会」のボランティア・ガイドさんの活躍により、ガイドを受けながらのウォーキングが企画され、誰もが気軽に参加できる催しとして大変好評を得ているところです。歴史的名所という宝に、「ガイドのあるウォーキング」という付加価値を付けることにより、より多くの人を宝に惹きつけている例といえます。

また、異なる種類の宝をつなげてより楽しくすることも考えられます。美しい自然の中で開催するミニコンサート、そして帰り道には地域の産物を使った美味しい食事ができるというように、宝をつなぐことによって付加価値を付け、ひとつの宝だけでは味わえない相乗効果による楽しさを作り出すことができると考えられます。



b 宝へ深く関わる意欲を受けとめる、場と機会の提供

宝の楽しみ方には、まず単に楽しむことが初めの一步であるとしたら、その次には、宝に対して能動的に関わっていくやり方があるでしょう。

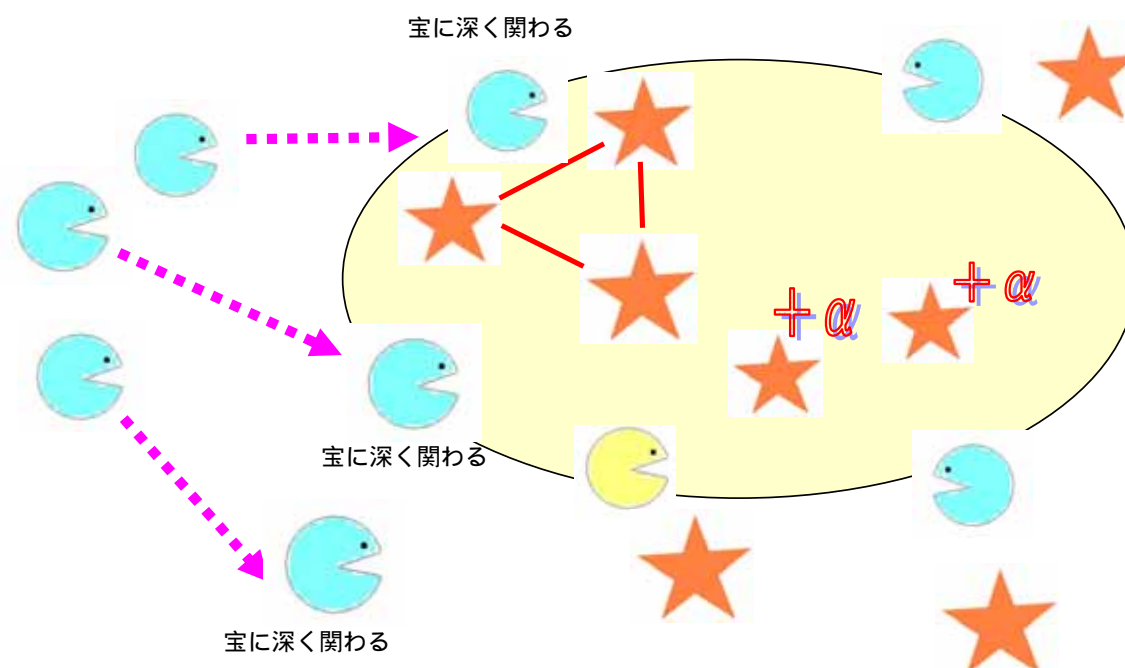
例えば、山や川の美しさを見て楽しんだら、次にその美しさを保つために自らが清掃の活動に取り組んでみたり、宝を楽しむ催しに参加したら、今度はそのような催しの企画や実施に関わってみたりというように。

実は、このような宝への深い関わりがつねに生まれて行くことが、西区の宝をみんなで磨くまちづくり、すなわち「西区まるごと博物館構想(仮称)」がねらう重要な部分のひとつと考えます。つまり、宝を磨く活動の新たな担い手を創出するのです。

よって、宝を楽しんだ人が、より深く宝への関わりたいという意欲を持ったときに、それをうまく受けとめ、次の新たな動きにスムーズにつなげていくことのできるしくみが必要となります。

自分が関わりたい宝の対象がはっきりしていて、自分が望む宝への関わり方と同じ活動をしているグループ、団体がすでにあるれば、そこに加わっていくことが可能でしょう。もちろん、活動に関する情報が広く知られていることが前提となります。

しかし、自分が関わりたい宝の対象が定まらない場合や、自分が望む宝への関わり方をしている活動が未だない場合、対象は決まっているが活動のノウハウが分からないというような場合にでも、宝に関わることのできる場と機会が必要です。

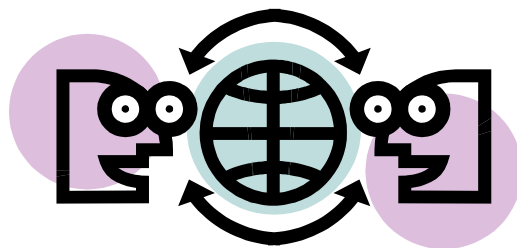


3 宝と関わる市民のネットワークづくり

宝が知られ、宝と関わる市民がどんどん創出されたら、次にはそのジャンルごとの市民が交流し、手をつなぐことによって宝磨きの活動が新たな展開を見せていくと考えられます。

宝の楽しさを増やそうとするときに「異なる宝をつなぐ」ことで付加価値を付け、相乗効果による楽しさをづくりだすことについて述べましたが、まさに「宝と関わる団体人や団体をつなぎネットワークをつくる」ということには、大きな可能性が秘められていると考えられます。例えば、活動する上での難題の解決のヒントを他の活動から見いだしたり、活動の中でもっと直接的に助け合える場面もあるかもしれません。ネットワークをつくることで様々な展開が期待できます。

では、ネットワークをつくるためには何が必要でしょうか。前述した宝についての情報提供のしぐみによって、宝と関わる市民の存在を知ることができますが、それだけでは、望むときだけの一過性のつながりしかできません。一過性ではない継続した有機的なネットワークをつくるためには、つねに顔をつなぐことが必要で、そのためにはつなぎ役として活動する事務局的な核となる存在が必要だと考えられます。



2 実現するための3つのプラン

プラン1 西区を魅(見)せよう

1 宝情報の提供と収集を行う「西区まるごと博物館 WEB(仮称)」の開設

インターネット上にホームページ「西区まるごと博物館WEB(仮称)」を立ちあげ、区の魅力資源に関する情報をジャンルごとに体系だて整理し、提供するとともに、市民が発見した宝を随時追加することができる双方向のシステムをつくります。なお、このホームページでは、GIS(地理情報システム)を活用して、さまざまな宝の存在を地図上で確認できるようにし、宝に回遊性を持たせます。

中心となる主体 ……行政
スケジュール ……平成17年秋までにシステム完成

2 宝の発掘を推進するための各種プロジェクトの実施

市民による宝の情報の発掘が積極的に行われるように、(1)のシステムを活用するなどにより、地域、学校などとタイアップし、さまざまなプロジェクトを実施します。

<例>

・地域お宝特派員制度

地域の宝についてレポートする役割を担う特派員の登録制度を設けます。

・子ども地域発見プログラム

学校の総合学習や、地域の子ども会の活動などで、子どもが地域の宝を見つける取り組みを行います。

中心となる主体 ……市民
スケジュール ……平成18年度から実施

プラン2

西区で動こう

● 「西区まるごと博物館推進団体(仮称)」の活動
～ 宝に人を惹きつけるための事業の企画・実施とその過程を通じた人材創出

市民と宝の関わりをつくり深めていくために、宝の楽しさを増やし、人を惹きつける付加価値をつくるには、地域の宝に身近なところで愛着をもって暮らし、地域の宝について一番よく知っている存在である市民の発想と力を中心にして推進していくことが、最も効果的であると考えられます。

そこで、平成16年12月、西区に関心があり、西区の魅力をさらに高めていくために熱意をもって事業の企画から実施まで取り組んでいただける方を対象に、「西区まるごと博物館企画・実施ボランティア(仮称)」を公募しました。

このボランティアのメンバーにより、「西区まるごと博物館推進団体(仮称)」を組織し、宝を活用したイベントなど、宝の楽しさを増やし、人を惹きつける付加価値づくりのための事業に取り組んでいきます。

事業として何を行うかについては、この構想で行政が一方的に決めることはあえてしません。宝にプラス を施すこと、異なる宝をつなぐことというような視点で、推進団体が主体となって、宝に人を惹きつける事業を企画し、行政とともに実現していきます。その際、毎年度の企画の内容、実施の結果などは広く市民に知らせていきます。

< 例 >

- ・「西区使っちゃリ(仮称)」活用した史跡めぐり
- ・自然と音楽のコラボレーション
- ・西区の旬を味わいながらの路地裏の魅力発見

推進団体の役割として、宝に人を惹きつける事業の実施に加えて、宝にもっと深い関わりをもちたいと思った人をいつでも受け入れ、事業実施に加わっていただくことで、宝磨きの活動を学んでいただく場とし、新たな人材を創出していくことがより重要と考えられます。

そのため、事業の企画・実施を行うとともに、ワークショップなどを活用して、事業計画、予算の組み立てから広報に至るまでの企画・実施の手法を学ぶ機会を取り入れていきます。

中心となる主体 ……市民

スケジュール ……平成17、18年度にモデル事業を実施

平成19年度上半期にモデル事業を検証のうえ、それをふまえて
その後の事業を実施



第1回ボランティア会合(ワークショップ)の様子



「西区まるごと博物館推進団体(仮称)」憲章

西区の宝を磨くために何かしたいと集まれたボランティアの方々に、今後協力して活動を行っていくにあたり、目標とすべきことや、活動しやすい組織のあり方などについて意見を出していただき、まとめました。この憲章にのっとり、これから活動を進めていきます。

1 私たちの役割、目標

私たちは、郷土の宝への理解と認識を深め、郷土のものしり殿堂をめざすとともに、新しい宝の創造と発掘に努め、地域内外に宝を楽しく伝えていきます。

私たちは、宝を磨く活動を行っているグループと交流し、そのノウハウを学び広く伝えていきます。

私たちは、これらの活動を行政との共働により行うことを通じて、市民の憩いの場をつくり、市民の交流とコミュニケーションを活性化して顔の見える関係づくりを行うとともに、誇れる地域づくりと郷土愛の涵養をすすめます。

2 私たちの活動の姿勢

私たちは、西区を魅力あるまちにしたいという気持ちを大切に、自由に、好奇心をもって活動します。

私たちは、他の人に西区の宝を楽しんでもらうとともに、自分自身が楽しく生きがいを感じながら、健康第一で活動します。

私たちは、一人はみんなのために、みんなは一人のためにの気持ちで、良いと思えば自ら進んで活動します。

私たちは仲間に感謝することを忘れずに、お互いの批判的発言を慎み、自分が楽しいことは仲間も楽しく、自分が嫌なことは仲間も嫌だということを肝に銘じます。

3 私たちの組織の理想像

私たちは、活動が長続きするように、できるときに参加するという緩やかな姿勢で臨みます。

私たちは、様々な年代の人に声をかけて新たな仲間づくりを行うとともに、誰でも参加しやすい組織づくりを心がけます。

私たちは、楽しい会合の運営と情報の共有化に努め、活動の成果などの広報を積極的に行います。

私たちは、将来的に自立した組織となることをめざします。

プラン3

西区を**結**ぼう

● 「西区まるごと博物館市民ネットワーク会議(仮称)」の発足

西区の宝を磨く市民の活動をネットワーク化し、西区の宝をさらに輝かせるため、「西区まるごと博物館市民ネットワーク会議(仮称)」を発足させます。

この核となる事務局は、「西区まるごと博物館推進団体(仮称)」を発展させて、推進団体メンバーを中心に市民が主体となって組織します。この段階では、市民のもつノウハウ、専門性や柔軟性を最大限に活かし、まるごと博物館の範囲をより幅広くしていくため、NPO化も視野に入れ、行政からは独立して活動することを目指します。

ゆえに、推進団体の機が熟した時に市民が主体となって実現させることとし、実現の時期はあくまで目標として設定することとします。

ネットワーク会議は、プラン2の推進団体の役割(宝に人を惹きつけるための事業の企画・実施とその過程を通じた人材創出)に加えて、主に次のような役割を担います。

- 市民の活動団体の相互交流機会の提供
- コーディネート機能(活動と活動のコーディネート、市民と活動のコーディネート)
- 活動についての各種相談への対応
- 「西区まるごと博物館Web(仮称)」の運営



中心となる主体 ……市民
スケジュール ……平成19年度以降

第4章 構想のめざす姿は

宝と宝がつながって、宝と人がつながって、人と人がつながっていく

自分でも信じられない。いつも家でだらだら休日を過ごしていた私が、今ではこの地域の自然の保全活動だなんて…。

きっかけは、家族に遊びに連れて行ってほしいとせがまれて、参加した史跡をめぐるガイド付きのウォーキング。転勤で西区に引っ越してきたばかりで、どこに行こうかと何気なくインターネットをながめていたら、西区役所のホームページの中にそのウォーキングの記事を見つけた。季候もいいし、弁当を持って出かけたなら安上がりかと、それくらいの軽い気持ちで申し込んでみた。

集合場所に行ってみると、ガイドさんが待っていてくれた。自分よりも年配の方たちが多くようだ。いざウォーキングが始まると、その健脚ぶりと張りのある声、そして歯切れがよく分かりやすいガイドの内容に驚いた。きっと、かなり綿密な下準備をされているのだろう。

そんな年配のガイドさんに混じって、自分と同じ年の頃の男性がいるのを見つけた。思い切って話しかけてみた。平日は会社勤めだが、身近にたくさんあるすばらしい歴史の宝物を子ども達に受け継いでいきたいと、ウォーキングに何度か参加したのをきっかけにガイドの活動をするようになったという。

「すごいですね。大変じゃないですか？」

「大変じゃないですよ。楽しんでやっていますね。」

「歴史のことなんか、相当勉強なさったんでしょう？」

「ガイドの諸先輩がこんせつに指導してくれましたからね。」

その人は本当にいきいきと話をする。私は、「そんなものかな…」と思いつつも、少しのうらやましさを、自分のこと以外は何もしていない自分の気恥ずかしさなど複雑な気持ちになりながら、歩き続けた。



山道を登り山頂に到着すると、目の前に広がるすばらしい風景。空の青と海の青、木々の緑。こんなすばらしい景観が身近なところにあるなんて。日頃の悩みやモヤモヤが飛んでいってしまうような感覚にとらわれた。



< 毘沙門山から長浜海岸方面 >

山道を下りながら、先ほどの男性ガイドさんに触発されてのことだと思うが、自分も何かできないか、この美しい自然の景観を守ることがやってみたいと思った。その時はもうそのことで頭がいっぱい。ガイドさんにそんな活動をしている人たちを知らないか尋ねてみた。すると、区にはいろいろな活動をしている団体の方が集まっている会合があって、団体間で協力して一緒にイベントを開いたりしているという。男性は、そこに顔を出してみることを提案された。

これが、私が自然の保全活動に足を踏み入れたきっかけ。おそろおそろその会合に参加した私が、今では団体の広報部長。仕事でコンピュータを扱う私だから、ホームページ作成はお手のもの。仕事人間だった私が、仕事ゆえの能力を活動でいかすことができたのだ。私の住むこのまちのすばらしい自然の宝をより多くの人に伝えていきたいと、日々ホームページのカウンターをチェックしている。

今週末は、区に3つある島のひとつ能古島に出かけて、海岸清掃の予定だ。家族みんなでいい汗を流せる。そして、その日に活動に参加する新たなメンバーに会える予定だ。感心なことに学生さんらしい。そんなワクワクする気持ちで眠りについた。



西区の宝(地域資源)一覧

- a 自然

名称	概要	所在地
生の松原海岸	JR下山門駅の北側一帯、今津湾岸沿いに位置する松原です。延長は1.9mです。砂浜は、夏は海水浴場として賑わいます。 ヨットハーバーが近く、ヨットの帆が立ち並ぶ美しい海景色をしばしば楽しむことができます。 生の松原元寇防塁があり、現在は復元整備された当時の姿で見ることができます。	西区生の松原
小田浜	博多湾西岸に位置します。 百道浜方面を見渡すことができます。	西区小田
長垂海岸	今津湾の南岸に位置し、長垂山のふもとから今宿までの海岸です。松林の中に今宿元寇防塁があります。	西区長垂
長浜海岸	博多湾の西岸に位置する延長3kmの海岸です。今津元寇防塁があります。大原海水浴場は長浜海岸の一部で、夏には海水浴客で賑わいます。	西区今津
愛宕山	愛宕山は、古くは鷲尾山といわれていました。室見川河口付近の小高い山で、山頂には愛宕神社があります。 山頂からの眺望はすばらしく、博多湾を一望できます。	西区愛宕
飯盛山	飯を盛ったような姿が印象的な標高382.4mの山です。 頂上からの眺めがすばらしく、多くの人ハイキングに訪れています。	西区飯盛
叶岳	神功皇后が願をかけたら、願いが叶ったことが名前の由来とされる叶岳は、標高341mの山です。ハイキングコースがあります。 登山口を10分ほどあがると遙拝所があり、今宿方面を見渡すことができます。	西区今宿上ノ原
叶岳ハイキングコース	昭和バス「叶嶽宮前」バス停の近く、叶嶽宮参道から登ります。 登山口を10分ほどあがると遙拝所があり、今宿方面を見渡すことができます。	西区今宿上ノ原
柑子岳	戦国時代、標高254mの山頂には豊後の大友宗麟が築いた柑子岳城という山城がありました。山頂からは糸島半島一帯と今津湾ごしに、福岡タワーなどの都市部のパノラマ風景が楽しめます。	西区草場
高祖山ハイキングコース	現在は、福岡歴史の町近くに登山口があります。 途中にあるかねつき展望台からはよい景色が楽しめます。	
灘山	北崎地区の北東に位置する標高209mの小高い山です。展望台からの玄界灘、博多湾の眺望は絶景です。ハイキングコースがあります。	西区大字宮浦
灘山ハイキングコース	約2,300mのハイキングコースです。 昭和バス「畑中」バス停の近くが登山口です。	西区宮浦
毘沙門山	名は、栄西が志願寺の奥の院として創建した山頂の毘沙門堂に由来します。 山頂からは眼下の長浜海岸をはじめとした美しい景色を楽しむことができます。	西区今津
室見川	総延長約16kmの二級河川です。西区と早良区の境を流れています。白魚や桜並木、渡り鳥など四季折々に様々な姿を見せてくれます。	

名称	概要	所在地
小呂島	福岡市から約40km北西の玄界灘に浮かぶひょうたん型の島で、周囲約3.4km、面積0.43km ² です。まき網漁業やブリの一本釣り、ヒラメ刺漁業などの漁業を主産業としています。毎日1便(火・土・日曜は2便あり日帰り可能)、姪浜との間に市営渡船が運行しています。航行時間は1時間5分です。	西区小呂島
玄界島	志賀島の西、博多湾の入り口に浮かぶ円錐形の島で、玄界国定公園区域内にあります。周囲は約4.4km、面積は1.14km ² です。ブリ、イサキ、タイなどの一本釣りを中心とした漁業を主産業としています。博多埠頭との間に、1日7便市営渡船が運航しています。航行時間は約30分です。百合若大臣伝説が伝えられており、百合若大臣の愛鷹である緑丸を祀った小鷹神社があるほか、島には、大臣山、立場崎など百合若と緑丸にまつわる地名が残っています。	西区玄界島
机島	玄界島と糸島半島の間であり、大小二つの島からなっています。ともに溶岩でできた島です。両島とも海食洞があります。島の名はその姿が机の形をしていることに由来します。	
柱島	玄界島の北西約900mにあります。周囲が350m、玄武岩の柱状節理が垂直に66mも上へのび、大小の海食洞窟があります。	
能古島	博多湾に浮かぶ能古島は、周囲約12km、人口約800人の小さな島です。美しい自然と、防人が置かれ万葉集にも詠われた豊かな歴史に彩られています。姪浜渡船場から船で10分と都心に近く、市民のレクリエーションの場として親しまれています。自然探勝路があります。	西区能古
能古島自然探勝路	約2.5kmの探勝路です。能古旅客待合所から西に徒歩約20分でコース入り口です。	西区能古
宝島	今津湾沖に浮かぶ宝島は、日本三大宝島のひとつといわれています。	西区今津
今津干潟	瑞梅寺川が今津湾に流れ込む河口の干潟で、クロツラヘラサギなど多くの野鳥が訪れます。また、カブトガニの産卵地としても有名です。	西区今津
金武のヤマモモ	推定樹齢300年以上の巨木で、大きく二つの幹に分岐し、付近を広く覆っています。毎年多くの実をつけており、県の天然記念物に指定されています。	西区大字金武1496
長垂の含紅雲母ペグマタイト岩	ペグマタイトは、主として石英・長石、雲母からなる火成岩で、巨晶花崗岩または鬼みかげともいいます。当ペグマタイト岩脈は、珍しい紅雲母を含んでいますが、旧陸軍の採掘により現在は美しい紫紅色を見ることは難しいです。国の天然記念物に指定されています。	西区今宿青木

- b 自然が生み出す食材(朝市、夕市、常設市)

名称	概要	所在地
花鯛郷北崎朝市会 唐泊漁師直販市	開催日時 / 毎週土、日曜日 7:30 ~ 漁師直販市は毎週土曜日 7:30 ~ 取扱品目 / 活魚、鮮魚、牡蠣(カキ)、野菜、花	海づり公園緑地 西区大字小田
もやいの里 いまづ朝市	開催日時 / 毎週日、木曜日 9:00 ~ 11:00 取扱品目 / 野菜、花、木工品、鉢物、手作り陶器、いちご、ぶどう	JA福岡市 今津支店近く 西区今津4806 - 12
元岡フレッシュ市	開催日時 / 毎週日曜日 5:30 ~ 8:30 取扱品目 / 野菜、花、卵、乾物、魚、豆腐	JA福岡市 西部流通センター 西区太郎丸1丁目12 - 7
姪浜の朝市	開催日時 / 毎週日曜日 5:30 ~ 取扱品目 / 活魚、鮮魚、ノリ	福岡市漁協 姪浜支所 西区愛宕浜4丁目49 - 1
博多じょうもんさん市場 周船寺店	開催日時 / 毎週月 ~ 土曜日(祝祭日除く) 14:00 ~ 20:00 取扱品目 / 野菜、花	西区周船寺1丁目
今宿やさい畑	開催日時 / 毎週金曜日 14:30 ~ 17:00 取扱品目 / 野菜、うこん、ひらたけ	JA福岡市 今宿支店 西区今宿1丁目1 - 29
漁師直売の店あこめ	開催日時 / 毎週日曜日 5:30 ~ 取扱品目 / 活魚	福岡市漁協 姪浜支所 西区愛宕浜4丁目49 - 1
能古の夕市	開催日時 / 毎月第1・第3土曜日 15:30 ~ 17:00 取扱品目 / 活魚、鮮魚、アサリ、野菜	能古漁協観光センター 西区能古457 - 15

- c 数多くの史跡・旧跡

名称	概要	所在地
生の松原元寇防塁	鎌倉時代、元が1274年に来襲した文永の役の後、再度の来襲に備えて、博多湾に沿った約20kmの海岸に築かれた石築地が元寇防塁です。元寇絵巻(蒙古襲来絵詞)には、肥後の国の御家人竹崎季長の活躍の中で生の松原元寇防塁の様子が描かれています。現在は、復元整備され、当時の姿でみることができます。国指定史跡です。	西区生の松原
今宿元寇防塁	今津から香椎までの20kmの防塁は、文永の役(1274年)の後、九州各国が分担して築きました。横浜から長垂(青木)の2kmは、豊前(福岡県東部から大分県)が担当したものです。国指定史跡です。	西区今宿駅前1丁目
今宿古墳群(飯氏二塚古墳)	6世紀初めの前方後円墳です。墳長は48m。内部主体は横穴式石室です。国指定史跡です。	西区大字飯氏
今宿古墳群(今宿大塚古墳)	6世紀前半の前方後円墳です。墳長は64m。墳丘、周濠、外堤の規模と整然とした姿は、北部九州屈指のものです。国指定史跡です。	西区今宿町大塚
今宿古墳群(兜塚古墳)	世紀代の前方後円墳です。墳長は54m。前方部は削られ、ほとんど残っていません。内部主体は横穴式石室です。国指定史跡です。	西区大字飯氏
今宿古墳群(鍬崎古墳)	4世紀末の前方後円墳で、墳長は62mです。今宿古墳群の首長墓に位置づけられ、横穴式石室を持つ初期の古墳です。未盗掘のままで発見された石室や出土品のレプリカが福岡市博物館に展示されています。国指定史跡です。	西区今宿青木鍬崎424-5、424-6
今宿古墳群(山の鼻1号古墳)	4世紀前半の前方後円墳です。墳長は44m。今宿平野の首長墓の系譜で最古に位置づけられます。国指定史跡です。	西区大字徳永265-1外
今宿古墳群(若八幡宮古墳)	4世紀後半の前方後円墳です。墳長は47m。神社背後の丘陵情に後円部を中心とした墳丘が残っています。国指定史跡です。	西区大字徳永字引地280-2
今宿五郎江遺跡	弥生時代の中期から後期の環濠集落跡。現在は今宿小学校の敷地で当時の姿はみられません。漁具や農具などの木製品、石錘や紡錘車などの石製品とともに小銅鐸が発見されました。	西区今宿町
今津元寇防塁	鎌倉時代、元が来襲した文永の役(1274年)の後、再度の来襲に備えて、博多湾に沿った約20kmの海岸に築かれた石築地が元寇防塁です。築造当時は約3mの高さに積み上げられていました。広場には休憩展示施設があります。国指定史跡です。	西区今津
今山遺跡	今山は高さ約80m。山頂や山麓部の玄武岩を用いた弥生時代の初期から中期の大型石斧製作所跡です。国指定史跡です。製作された石斧は、伊都国の交易品として、北部九州に広く流通していました。海側では古墳時代、製塩が行われ、平安時代には港湾施設があったといわれています。	西区横浜2丁目1435-2外
旧唐津街道	唐津街道は、江戸時代の主な街道の一つ(小倉～唐津間)で、姪浜は宿場として栄えました。その面影は百年以上たつ町屋造りの家などに残り、民家に入れば巨大な梁や大黒柱、漆塗りの大戸棚などが今もみられます。	西区姪の浜3丁目、6丁目
旧三瀬街道と金武宿	早良平野には、江戸時代中期頃から明治時代にかけて、佐賀と福岡とを結ぶ「三瀬街道(みつせかいどう)」が通っており、三瀬街道の要所にあたる金武には「金武宿(かなたけしゅく)」とよばれる宿場がありました。漆喰壁(しっくいかべ)の蔵などが当時の面影を偲ばせます。	西区大字金武
草場古墳群(西陵公園)	方墳1基、円墳10基からなる古墳群で、現在1～4号墳が保存されています。石室から出土した須恵器などが、6世紀後半から7世紀前半の古墳であることを示しています。福岡市指定史跡です。	西区大字下山門1709-3、1709-8
くじら石	江戸時代に「筑前五ヶ浦廻船」の千石船をつないだ礎石です。捕れた鯨もつないだ事から「くじら石」の名がつけました。	西区大字宮浦
桑原飛櫛貝塚	桑原飛櫛貝塚は、西区内の貝塚で最も古く、縄文時代後期のものと考えられ、貝層の中からは人骨や獣骨が出土しました。	西区大字桑原
鹿垣	江戸時代、島は藩の鹿の獵場で最盛期には約600頭の鹿がいました。鹿垣は鹿が田畑を荒らさないように東西2kmにわたって築かれた石垣で、今も一部が残っています。	西区能古字早田1081-4
蛇岩	砂岩が長い間浸食され、遠くから見ると大蛇が横たわっているように見えるので蛇岩と呼ばれています。これにまつわる悲しい恋愛物語が残っています。	西区愛宕2丁目
太閤水	豊臣秀吉が、朝鮮出兵のため肥前の名護屋城に行く途中に、このわき水を使って茶湯をたしなんだといわれ、太閤水と名付けられました。	西区今宿青木

名称	概要	所在地
旦過だるま堂	興徳寺の旦過寮(旅の僧を宿泊させてもてなしたところ)跡で、中国の禅宗の開祖、達磨大師をまつています。 市指定文化財の銅造塔婆型厨子(写真)や室町時代姪浜石で造立した五重石塔があります。	西区姪の浜6丁目13-7
探題塚	延元元年(1336年)、足利尊氏は九州統制のため九州探題を置きました。 ここは、最後の探題渋川義興が討ち死にした場所と言い伝えられており、「鎮西將軍貫峰日大居士公位」と刻まれた石碑が建てられています。	西区姪の浜2丁目
斜ヶ浦池(斜ヶ浦瓦窯跡)	ため池のもつ緑と水辺を生かした公園として整備されています。 斜ヶ浦池の北側周辺には平安時代の瓦窯跡があります。「警」「警固」とかかれた瓦が出土し、鴻廬館の瓦を焼いたといわれています。	西区生の松原4丁目
野方遺跡	弥生時代後期から古墳時代前期の集落跡で、国指定史跡となっています。現在は史跡公園として整備されており、住居跡展示館では、土器などの出土品が展示されています。(開館時間9:00~17:00 入館無料)	西区野方5丁目11
能許万葉歌碑	能許(のこ)という地名が文献に初めて出た歌で、荒津から出航した遣新羅使が能許の泊(現在の唐泊)で風待ちをしている時の気持ちが詠まれています。	西区能古寺脇506-2
能古焼古窯跡	能古博物館の敷地内にある登窯の窯跡です。江戸時代中期頃(18世紀後半)の約20年間操業しました。福岡市指定文化財です。	西区能古寺脇506-1,506-5
羽根戸原地蔵堂と羽根戸古墳群	新四国霊場第35番礼所の地蔵堂で、境内には桜の木が多く、花見の季節には多くの人を訪れています。 また、地蔵堂周辺の羽根戸古墳群からは、明治13年(1880年)頃、高さ30、5cmの「装飾付器台(そうしょくつききだい)・子持ちはそう」が欠損の少ないほぼ完全な形で出土しました。 現在は伊勢神宮に所蔵されており、国の重要文化財となっています。	西区大字羽根戸
羽根戸南古墳群	「位至三公鏡(いしさんこうきょう)」とよばれる中国製青銅鏡(せいどうきょう)や鉄製小刀などが出土しました。市水道局研修所の玄関横には箱式石棺の実物が、1階ロビーには資料の一部が展示されています。	西区大字羽根戸
早田古墳	7世紀に造られた直径8m前後の小さな2基の円墳です。写真は2号墳の石室でほぼ完全な形で残っています。	西区能古寺早田1081-23
舟つなぎ石	夫婦石ともいわれる2本の石柱です。この石があるので、ここを立石原といいます。太古は、この石に船をつないだといわれています。	西区大字飯氏
丸隈山	室町時代、探題渋川義興が、城を構えたところで、頂上に毘沙門天があります。この像は自然積石の平板に三神体を線彫刻した線刻描画拓影とよばれる珍しい形式のもので、	西区小戸1丁目
丸隈山古墳	5世紀前半の横穴式石室を持つ前方後円墳。墳長85m。今宿平野だけでなく、糸島平野全体を掌握した首長の墓と考えられます。 古墳発見は江戸時代で、貝原益軒の「筑前国風土記」には、発掘時の様子が書かれています。国指定史跡です。	西区大字周船寺
夫婦塚古墳	かつては2つの円墳(えんぷん)が寄り添うように並立していたことから、この名が付けられました。1号墳は原形をとどめていませんが、2号墳には巨石で築かれた横穴式石室があります。 石室からは、須恵器高杯(すえきたかつき)などが出土しており、市指定史跡となっています。	西区大字金武1666及び1667
元岡瓜尾貝塚	昭和31年(1956年)に発見されました。縄文時代後期後半を主としたもので、縄文土器や黒曜石を使った石器、鹿や猪の骨、人骨などが出土しています。 昭和43年に県の史跡に指定されました。	西区大字元岡字池の浦
也良崎万葉歌碑	也良崎は防人が置かれていたことが分かっている全国唯一の場所です。この歌は防人を詠んだ歌の一首で、船出して帰らぬ人となった夫を恋慕う妻子の悲しみを詠んだものです。	西区能古郡郷1624-5
吉武高木遺跡	弥生時代前期末から中期初めにかけての王墓といわれており、国指定史跡となっています。青銅の剣、矛、まが玉、朝鮮半島製の多鈕細文鏡(たちゅうさいもんきょう)などが出土しており、現在、これらの副葬品は国の重要文化財に指定され、市博物館に展示されています。	西区大字吉武字高木180外
鷲尾城跡	鎌倉幕府は、元寇の後、九州の防衛拠点とするため、姪浜に奉行所(鎮西探題)を設け、鷲尾山に城を築きました。また、周辺からは土板に経文をほった瓦経が多数出土しました。	西区愛宕2丁目

- c - 2 寺社

名称	概要	所在地
愛宕神社	愛宕山は昔、鷲尾山といわれ、鷲尾権現がまつられていました。その後寛永11年(1634年)筑前国二代藩主黒田忠之が京都の愛宕権現をむかえたのが愛宕神社の始まりといわれています。正月大祭、愛宕桜祭り(4月)、ほおずき夏祭り(7月)、火祭り(12月)などの行事は多くに人でにぎわいます。 また、愛宕山には、昭和3年にケーブルカーがつくられましたが、第2次大戦が激しくなり撤去されました。	西区愛宕2丁目7-1
飯石神社	創建の時期は不明。平安初期に祭事が行われたと記録に残っています。敷地境内には福岡市指定の保存樹である楠・ムク・銀杏などの巨木が十数本あり、古色騒然とした雰囲気があります。	西区大字飯石
飯盛神社	平安初期の貞観元年(859年)の創建といわれています。本殿は、市指定文化財となっており、他にも「石造狛犬」(県指定文化財)などがあります。	西区大字飯盛609
飯盛文殊堂	高さ2.16mの文殊菩薩騎獅像(もんじゅぼさつきしろう)が安置されているお堂です。像は鎌倉彫刻の特徴を残しており、市指定文化財となっており。また、文殊菩薩は知恵と学問の仏様であることから、受験の季節には、合格祈願に多くの人々が訪れています。	西区大字飯盛
舌岐神社	「日本書紀」に登場する舌岐真根子をまつる神社です。筑紫巡察使の竹内宿禰が、陰謀により、心神天皇の刺客に殺されようとしたとき、舌岐真根子が身代わりとなりました。天井には珍しい絵馬があります。	西区生の松原1丁目9
伊観神社	もとは主船司神社といえます。創建の時期は不明です。江戸時代前期の神社名は、松の木天子社で、その後松木天神となり、伊観神社となったといわれます。 周船寺という地名は、一説によると、奈良時代大宰府政庁の時代に船を司る役所(主船司)があったことに由来するといわれています。	西区大字周船寺2丁目10
宇多神社	宇多天皇(9世紀頃)をまつた神社とされますが、宇田川原と宇多天皇の結びつきは不明です。 元旦には、宇田川原豊年獅子舞(市指定無形民俗文化財)が奉納されます。 これは享保の大飢饉ののち、豊作を祈ることから始まったものです。	西区大字宇田川原
永福寺	禅宗の寺で明治の初め頃まで神宮寺と呼ばれていました。境内には地元出身の洋画家多々羅義雄の歌碑や、戦後すぐに遭難し28人の犠牲者を出した能古渡海船の慰霊碑、二八観音などがあります。	西区能古字寺脇481
大蔵神社	筑前国風土記に「韓亭に社あり」と記されており、それがこの神社です。港を見下ろす高台にあり境内には大楠が繁っています。 正月の「どんたく」では、年男、年女の参拝で賑わいます。	西区大字宮浦
叶岳神社	叶岳登山口を10分ほどあがると、遙拝所があります。本殿は山の頂上です。約600年前に上の原の豪族、吉住因幡守忠親が建立したと伝えられています。 昔の名称は天狗山で、その後神功皇后伝説から、願いが叶うという意味で叶が嶽(岳)と呼ぶようになりました。	西区今宿上ノ原
熊野神社<拾六町>	創建は不明ですが、鎌倉時代からこの地に熊野信仰があったといわれています。 熊野神社に収納されている木造大日如来坐像(写真)は平安時代末期から鎌倉時代前期の作品とされ、福岡県文化財として指定されています。	西区拾六町5丁目4
熊野神社<横浜>	今山の中腹にあります。神社を包む山のあちこちに、馬頭観音・大師堂・薬師堂などがあり、頂上には巨大な玄武岩を背にした八大龍王がまつられています。 神社から少し登った東展望台からは、今津湾が、西展望台からは、糸島平野が展望できます。	西区横浜2丁目
熊野神社<今津>	今津漁港の背後に位置し、当時の産神です。拝殿には、明治から昭和の武者絵馬があります。	西区今津
興徳寺	臨済宗の寺で、鎮西探題北条時貞が、文応元年(1260年)に建立しました。開山は、南浦紹明(大応国師)で、元寇ひっ迫の時三年間住職として留まりました。毎年11月29日の開山忌には、本堂に国指定文化財「絹本着色大応国師像」が掛けられます。	西区姪の浜5丁目23-1
光明寺(小田観音堂)	神龜5年(728年)に聖武天皇の勅願寺として報恩禪師が開山となり建立しました。ご本尊は千手観音で、清賀上人の作と伝えられ、高さ2mを越える立像です。「雷山観音」、「油山観音」とならび「福岡三観音」と言われています。	西区大字小田
三所神社<千里>	高祖宮、飯石宮、馬場宮をあわせて三所とされます。 神社の裏には、千里の飛び石があります。 「高麗より千里の遠きを経て来たりしにより、この名あり」除夜のおり、空中鳴動し、この石現る」と記録に残っており、千里も遠くから飛んできたので、地名も千里になったといわれています。	西区大字千里

名称	概要	所在地
三所神社<宮浦>	社伝によると、神亀5年(728年)聖武天皇の頃に勧請され、航海の守護神の宗像三神が祀られています。「板絵著色武者絵馬」は葛飾北斎の弟子柳々居祭神の作で航海の安全を祈願して奉納されたものです。市の有形民俗文化財の指定を受けています。	西区大字宮浦
四所神社<今津>	祭神は、天照大神、住吉大神、八幡大神、春日大神です。筑前風土記によれば、ここは異国船が入り出したところであったので、その鎮守の為に勧請されたと伝えられています。	西区今津
四所神社<桑原>	菅原道真などを祭神とする村の産神です。境内に幹まわり2.5mの大きなイチヨウの木があります。毎月4月に城南区田島に伝承されている「田島神楽」(市指定無形民俗文化財)が奉納されています。	西区大字桑原
勝福寺	大覚禪師が開山し、鎌倉幕府5代執権、北条時頼を檀越として建長元年(1249年)に創建されました。延文5年(1360年)には、朝廷の勅願寺となりました。国指定文化財「絹本着色大覚禪師像」や数々の中世の文書が伝わります。	西区今津1722
常楽寺・駒曳地蔵	常楽時は、栄西の創建といわれ、かつて聖福寺(御供所町)の奥の院として栄えました。境内には駒曳地蔵がまつられています。江戸時代後半、青木の村人と助が年貢米を届けた帰りに馬が暴れ出し、通りかかった武士の袴にどろをはねました。その罪で手うちされたとされた与助を哀れみ、村人が馬をつれた地蔵をたてました。	西区今宿青木269-1
白木神社	祭神は五十猛命で、西浦の産土神として祀られています。妙見山の頂上にあったものを昭和36年に現在地に移しました。毎年9月初旬には航海安全と豊漁を祈願した「ヒョウカリイライ」という祭りが行われています。	西区大字西浦
白髭神社	能古島の産土神。奈良時代の創建といわれ、祭神は住吉大神、神功皇后、志賀明神などです。本殿の飛天の彫刻が見事です。	西区能古字東732
白山神社	正保3年(1646年)に大原地区が開拓されたとき、柑子岳に祀られたのがはじまりで、明治17年に風光明媚な現地に移されました。	西区今津
住吉神社	奈良時代の、天平年間(729年~749年)に建てられ、室町時代に北側の海岸近くから現在地に移転しました。	西区姪の浜3丁目5-5
誓願寺	筑前怡土・志摩両郡の豪族、中原氏の娘の発願で、安元元年(1175年)に、臨済宗の開祖である栄西を招いて創建されました。栄西直筆の書である国宝「誓願寺孟蘭盆縁起」や海外交流を裏付ける「銭弘徽八万四千塔」、「孔雀文沈金経箱」(ともに国重要文化財)が伝えられています。	西区今津851
長垂寺の毘沙門天	長垂寺は、江戸時代の前半に橋本に建立されたのが起源とされ、大正15年に西新から現在地に移転しました。中に色鮮やかな等身大の毘沙門像がまつられています。	西区今宿青木
東泉寺	東泉寺は、博多崇福寺の古外大和尚が、同寺の末寺として、寛文年間(1661年~1673年)に建立しました。大応国師像や涅槃図などが伝えられています。	西区大字桑原888
東林寺と万葉歌碑	建久2年(1191年)に禅宗の始祖である栄西が、中国(宋)からの帰国後、宋の東林寺の立地に似ていることから「唐泊山東林寺」と名付けて建立しました。寺内には、「万葉歌碑」、「栄西禪師像」、「座禅石」があります。	西区大字宮浦
徳門寺	栄西が開山し、龍雲庵といいましたが、寛文3年(1663年)に、徳門寺と改めました。寺宝に「栄西禪師頂像」があり、楼門の文字は聖福寺の仙厓和尚が書いたものです。	西区大字宮浦1930
登志神社	今津は、古代「登志郷」と呼ばれ、その湊鎮守のために祀られた神社です。人の日には、この神社を氏神として「今津の十一日松囃子」が催され、山笠や山車が町内を走ります。また、9月初旬には境内で「今津人形芝居」(県指定無形民俗文化財)の公演が行われます。	西区今津1570
二宮神社	今から270年ほど前、現在の今宿小学校付近から移されたといわれています。正月3日には、子どもたちの玉せせりが町の各家をまわり、7月29日には夏越祭が催されます。	西区今宿1丁目
橋本八幡宮	室町時代中期の文明14年(1482年)に、柴田内蔵助重信(しばたらのすけしげのぶ)父子により創建されました。境内には巨大な榎や楠が多く、榎と楠が幹の途中でつながった「きずなの木」があります。	西区橋本2丁目29
八大龍王	栄西が中国から帰ってくるとき、暴風雨に遭いましたが、八大龍王の加護により、九死に一生を得て無事に帰国したことへの報恩の意味で祀られています。	西区今津

名称	概要	所在地
水町天満宮	福岡城内にまつてあった太宰府天満宮の分霊で、明治15年10月福岡城解体の時、町民が協議して移築されました。菅原道真がまつられており多くの人が参拝しています。	西区姪の浜6丁目8
八雲神社	神社所蔵の若武者絵馬は、福岡藩四代藩主黒田綱政が元禄14年(1701年)に奉納したもので狩野昌運の作です。市指定有形民俗文化財で市博物館に保管されています。 正月元旦に奉納される今宿青木の獅子舞(写真)は、市指定無形民俗文化財です。	西区今宿上ノ原字天神
八坂神社	大己貴命など村内数社の祭神を大正時代に元岡村村社の八坂神社に合祀したものです。 毎年7月14・15日に祇園祭が催され、「元岡祇園ばやし」、「元岡獅子舞」(ともに市指定無形民俗文化財)が奉納されます。	西区大字元岡

- c - 3 歴史上の人物等

名称	概要	所在地
亀井南冥生誕地	亀井南冥(1743年~1814年)は、志賀島から発見された金印を守る「金印弁」を著した人です。福岡藩西学問所「甘棠館」の館長となり、多くの門弟を育成しました。能古博物館には、筑前亀井学派の資料が多く展示されています。	西区姪の浜3丁目
檀一雄旧宅	最後の無頼派文士と呼ばれ、「リツ子その愛」「火宅の人」などで有名な作家の檀一雄が、晩年の2年間を暮らした家です。中は見られませんが当時のままに残されています。	西区能古字東635
檀一雄文学碑	作家檀一雄の絶筆「モガリ笛いく夜もがらせ花二逢はん」を刻んだ文学碑。碑の場所から「リツ子その愛・その死」の舞台となった糸島半島の小田の浜が望めます。	西区能古
宮崎安貞の書齋・墓	安芸の広島で生まれ、25歳で福岡藩に仕え、30歳で藩を退き、各地を歩き農業技術を学びました。その後、女原村に住み、農業の実践・研究・指導に専念しました。安貞の「農業全書10巻」は、この書齋で書かれ元禄10年(1697)に完成しました。県指定史跡です。	西区大字周船寺381-14

- a 数多くの民俗行事、伝統芸能

名称	概要	所在地
飯盛神社のかゆ占	稲作を中心としたその年の農作物の豊凶を占う神事です。2月14日、粥を炊き翌日に神前に供えられます。3月1日に粥開きが行われ、粥のかびの長さや色合いでその年の作物の予想が参詣者に伝えられます。 県指定無形民俗文化財です。	西区大字飯盛609
飯盛神社流鏝馬行事	10月9日に飯盛神社で行われる神事です。五穀豊穡、武運長久、無病息災を祈って約400年継承されてきた伝統行事です。狩衣姿の武者が疾走する馬上から弓を射ます。 市指定無形民俗文化財です。	西区大字飯盛609
今宿青木獅子舞	正月元旦に八雲神社に奉納されます。 1000年以上も前に始められたという説が伝えられています。 市指定無形民俗文化財です。	西区今宿青木
今津人形芝居	江戸時代に若者の善導のために採り入れられた隣村「大原」の「大原操り」を、明治24年に今津で宗善次郎が恵比寿座を結成して道具と技術を受け継いだものです。 9月初旬に登志神社で公演が行われています。 県指定無形民俗文化財です。	西区今津1736
宇田川原豊年獅子舞	享保年間(1716～1736年)の大飢饉の後、豊作を祈ることから始まったと伝えられています。正月元旦に宇多神社、8月17日に丸隈山古墳の慰霊祭で奉納されています。 市指定無形民俗文化財です。	西区大字宇田川原199
草場の盆綱引き	最も古い形を残した盆綱引きと考えられています。8月15日昼過ぎ、山から藤のつるを取ってきて、40～50mの綱を作ります。夕方、みんなで綱を引いた後、綱の中央を斧で切ります。これは先祖の霊が帰られるように、道を作るためだと言われています。 市指定無形民俗文化財です。	西区大字草場
城の原の盆踊り	8月14日から15日にかけて行われる地域の伝統行事で、現在は福岡市無形民俗文化財に指定されています。 提灯で飾った盆台で伴奏される三味線、太鼓、笛の音にのって盆踊りが行われ、15日の盆押しと盆綱引きでにぎわいます。 市指定無形民俗文化財です。	西区上山門2丁目
西浦のかずら引き	8月16日に行われます。ふんどし姿の子どもや白い下着姿の男たちがかずらの盆綱にしがみつく、わら縄で作ったはちまきをしたしょうき大臣が現れて、暖竹で一人ひとりの背中を叩きます。叩かれた人は一年間無病息災と言われています。その後、綱が土俵に代わり相撲大会が始まります。 市指定無形民俗文化財です。	西区大字西浦
能古島白髭神社おくんち行事	毎年10月9日に行われる、随所に近世の雰囲気を残した行事です。当日は幼児の御幣持を先頭に豪華な供物を神社に運び祭典を行います。 市指定無形民俗文化財です。	西区能古732
元岡祇園ばやし	7月14・15日の八坂神社の祇園祭で奉納されます。 明治初年頃始められ、一時中断されることもありましたが、昭和40年に復活しました。 市指定無形民俗文化財です。	西区大字元岡1599
元岡獅子舞	江戸時代を起源にすると伝えられている獅子舞です。現在舞われているものは明治30年に復活されたもので、宇田川原や今宿青木と同系統で演劇性の強いものです。 7月14・15日の八坂神社の祇園祭で上演されます。 市指定無形民俗文化財です。	西区大字元岡1599

- b 地域活動

まちづくり活動支援事業の活動団体

1 芸術・文化・伝統行事振興に関する活動

年度	団体名	事業名	事業内容
13・14	「筑前今宿歴史かるた」によるまちづくり事業(13) 今宿みんなてよかまちつくり会(14)	「筑前今宿歴史かるた」によるまちづくり事業実行委員会(13) 明るく思いやりのある今宿まちづくり推進事業	地域の歴史を題材にしたかるたの作成とかるたを活用したウォークラリー等の実施、世代間交流事業、青少年健全育成事業等
13・14・15	アートinすせんじ街ごと美術館実行委員会	アートinすせんじ街ごと美術館	地域をひとつの美術館に見立てた展覧会の開催等
14・15	小呂島町内会	小呂島盆行事後継者育成事業	小呂島三番叟の練習
15	金武校区まちづくり協議会	金武校区史跡文化財顕彰事業	校区内の史跡を説明する案内板の作成と設置、小冊子の作成
15	西区市民吹奏楽団	西区音楽文化交流・振興事業	コンサートの開催、各地域でのミニコンサートの開催
12・13・14	まちづくりフォーラム249	まちづくりフォーラム249文化交流事業	ロビーコンサートの開催、西区市民吹奏楽団の活動、市民団体交流事業等
14	松原獅子舞同好会	松原獅子舞の保存と後継者育成事業	獅子舞の練習、笛・太鼓の練習、地域の行事への参加等
12・13・14	金武太鼓実行委員会	金武太鼓地域おこし事業	和太鼓の練習、異年齢の仲間づくり、地域の行事への参加等
12・13・14・15	今津人形芝居保存会	今津人形芝居の保存と後継者の育成事業	人形操り練習、三味線・浄瑠璃練習、公演活動、後援会活動の展開
12・13・14・15	城の原盆行事後継者育成会	城の原盆行事後継者育成事業	盆行事実施、囃子の稽古、小学生に盆踊りの指導、後継者の育成
12・13・14・15	西区よかとこ案内人連絡協議会(12・13・14) 西区歴史よかとこ案内人連絡協議会(15)	西区歴史文化ボランティア・ガイド及び西区歴史文化マップの作成(12) 西区歴史・文化ボランティア・ガイド事業(13・14)	区内の史跡のガイドの実施、ガイドの養成、ガイドコースの調査・学習、案内人の研修
12・13・14・15	西区市民オーケストラを育てる会	西区市民オーケストラ育成事業	コンサートの開催、各地域でのミニコンサート開催、賛助会員の募集等
12・13・14	能古島に穴窯を作る会	能古島陶芸祭開催事業(12) 西区市民陶芸活動推進事業(13・14)	穴窯の維持補修、陶芸祭の実施、市民陶芸教室、教室で作成した作品の焼成作業等

2 自然保護、環境美化などの活動

年度	団体名	事業名	事業内容
13・14・15	愛宕浜校区自治会連絡会	愛宕浜校区ふるさとづくり(13) 愛宕浜校区ふるさとづくりステップアップ(14) 愛宕浜校区ふるさとづくりアチーブメント(15)	校区内の花植えと清掃、健康づくり大会の開催
15	壱岐南校区自治連合会	地域活動ネットワーク事業	校区の広報紙作成、広報誌作成のための講習会の開催
13・14・15	北崎を考える会	北崎異文化交流と花の郷づくり(13) 北崎花の郷づくり(14・15)	韓国との交流事業、校区内の花植え
13・14	クリアコースト自治会環境美化部会	クリアコースト環境美化事業	マンション周辺の花植え
13・14・15	十郎川の自然を楽しもう会	「みんなで作る十郎川」活動事業	十郎川の環境保全活動、学習活動
15	名柄川上流域愛護会	名柄川(2級河川)上流域の環境美化事業	名柄川の環境美化活動
13・14	なまず会	花と緑のあるまちづくり事業	町内の遊休地への花植え、清掃
15	福重校区自治連合会	福重校区室見川を守る事業	室見川の清掃
14	ふるさと金武・ホテルを守る会	ホテルと花と緑のあるまちづくり事業	金武川のホテルを守り育てる活動、学習会の開催等
13	愛宕浜4丁目1区自治会	花と緑の町づくり	町内の花植えと清掃
12・13・14・15	壱岐校区自治連合会	壱岐校区地域づくり推進事業	校区ネットワーク化、十郎川自然環境保全活動、青少年育成&三世代ふれ合い事業等
12・13・14・15	壱岐東校区自治連合会	壱岐東校区ふれあい交流事業	環境の美化活動、三世代交流事業、帰国者交流事業
12・13・14・15	横浜地区すみよい町づくりの会	横浜地区すみよい町づくり事業	今山遺跡の保存と景観の美化活動、視察研修、講習・学習会等
13・14	讃老会	環境意識の芽を育てる事業(13) 明かるく(元気なまちづくり事業(14)	域内河川の清掃、赤い土公園の美化活動、フリーマーケットの開催、空き缶ひろい等
13・14・15	上山門地域おこし実行委員会	上山門地域おこし推進事業	丸山広場の清掃、除草、ふれあい交流事業の実施等、城の原南公園の清掃と花壇の維持管理
12・13・14・15	能古校区自治連合会	花の島づくり事業	島内への植栽と維持管理

3 青少年育成、子育て支援に関する活動

年度	団体名	事業名	事業内容
14	石丸校区自治連合会	青少年と地域社会との連携強化事業	親子キャンプの実施、名柄川清掃、お菓子作り教室の開催等
15	今宿校区自治連合会	今宿校区子育て交流事業	校区の各町内集会所における子育てサロンの開催
15	エルマー文庫inうちいま	子どものための読み聞かせ・読書活動支援事業	子どもへの本の読み聞かせ、文庫活動等
12・13・14・15	西区子ども会育成連合会	「元気に育て子どもたち」事業(12) 元気に育て子どもたち・2001(13) 「元気に育て子ども達・2002」(14) 「元気に育て子ども達・2003」(15)	指導者研修、リーダーキャンプ、地域交流会
12・13・14・15	福岡西区子ども劇場(12・13) えほんだいすきの会(14・15)	世話やきおばさんの子育て支援「えほんだいすきの会」(12・13) 世話やきおばさんの子育て支援「えほんだいすき」(14・15)	絵本の読み聞かせ、わらべ歌あそび、乳幼児のための舞台鑑賞、絵本を通して子育ての話と本の紹介

4 地域住民の交流活動

年度	団体名	事業名	事業内容
12・13・14・15	愛豊まちづくり推進協議会	愛豊まちづくり推進事業	地域福祉事業、世代間交流事業、高齢者交流事業、地域交流事業、研修啓発事業
12	下山門校区自治連合会	三世代交流ふれあい事業	グラウンドゴルフ等のニュースポーツを通じての三世代交流事業
12	下山門地域発展協議会	下山門・西陵・城原校区ふれあい事業	地域づくりパレードの実施、ふるさと音頭発表会
12・13・15	玄界島町内会	玄界島ふれあい事業(12・13) ふれあい健康づくり(15)	歩け歩け大会の開催、海岸の清掃等
13・14・15	住みよい内浜づくり実行委員会(13・14) 内浜まちづくり推進会議(15)	思いやりとぬくもりのあるまちづくり事業	伝統行事継承事業、スポーツや文化活動による新旧住民の交流、子ども達による独居老人家庭訪問等
12・13・14・15	姪浜校区「住みよい町づくり」事業実行委員会	姪浜校区「住みよい町づくり」事業	清掃活動と地引き綱大会、歴史散策とウォークラリー大会、福祉活動ともちつき大会、福祉施設等研修、広報事業
12・13	石丸校区自治連合会	石丸地区すみよい町づくり事業	三世代交流グラウンドゴルフ大会、夏祭りのおはやしの伝承、防犯活動と餅つき大会、史跡めぐりをかねたハイキング(12・13)

5 福祉、防災、調査研究、その他のまちづくりに関する活動

年度	団体名	事業名	事業内容
14	石丸校区防犯組合	高齢化社会における高齢者対策事業	チョボラボランティアの活動、校区内パトロール、消化訓練と応急処置訓練等
12・13・14・15	城原校区社会福祉を考える会(12) 福祉を考えるたんぼの(13・14・15)	安心して暮らせる地域にしたいな事業	ふれあいサロンの開催、広報紙“たんぼ”発行、社会福祉に関する調査および報告等
12・13・14・15	すみよい今津をつくる会	住みよい町づくり事業	校区内への植栽と維持管理、まちづくりのための講演会等の開催、広報紙の作成等
12	生の松原サンハイツ自治会	安心して暮らせるまちづくり活動	住民間のコミュニケーションづくり、防犯パトロール、各種講演会、関係者連絡会議
12	徳永町内会	徳永まちづくり推進事業	都市づくりに関する研修会、講演会の開催

やる気応援事業の活動団体

1 芸術・文化・伝統行事振興に関する活動

年度	団体名	事業名	事業内容
16	今津人形芝居保存会	今津人形芝居の保存と後継者育成事業	登志宮公演及び練習
16	城の原盆行事後継者育成会	城の原盆行事後継者育成事業	盆行事(盆踊り、盆押し、盆綱引き)の実施及び継承
16	伝えよう金武のむかし話会	金武校区の民話を次世代に伝える	資料収集、勉強会、本の作成
16	西区市民オーケストラを育てる会	市民オーケストラ育成事業	出張演奏、ニューイヤーコンサート、第九を唄おう
16	西区市民吹奏楽団	西区音楽文化交流・振興事業	中学生との交流、野の花学園交流、ファミリーコンサート
16	西区で第九をうたう会	音楽でつなぐ住みよいまちづくり事業	第九の練習、第九の発表会と西区内コーラス・サークルの発表会
16	西区歴史よかとこ案内人連絡協議会	西区歴史・文化ボランティア・ガイド事業	歴史探訪ボランティア活動、会員の学習会、よかとこ案内人養成講座

2 自然保護、環境美化などの活動

年度	団体名	事業名	事業内容
16	アートinすせんじ街ごと美術館実行委員会	アートinすせんじ街ごと美術館	商店街の35会場に美術愛好者の作品を展示
16	愛宕シテクリーン協議会	愛宕シテクリーン事業	清掃、樹木等の保全、チラシ作成、看板取付、他のボランティアとの交流会
16	壱岐の森を育てる会	壱岐の森を育てる事業	西区市民ふれあいの森の育成と下草刈り、緑化推進啓蒙啓蒙、十郎川環境保全
16	十郎川の自然を楽しもう会	みんなで創る十郎川活動事業	クリーンアップ、自然ウォッチング、定例会
16	名柄川上流域愛護会	名柄川上流域の環境美化	川底清掃、啓発チラシ制作配布、看板作成掲示、環境学習会
16	名柄川の清流を守る会	名柄川清流まちづくり活動	名柄川清掃、三世代ふれあい事業、環境美化事業

3 青少年育成、子育て支援に関する活動

年度	団体名	事業名	事業内容
16	エルマー文庫内浜inうちはま	子どものための読み聞かせ・読書活動支援事業	公民館での文庫活動、小学校での読み聞かせ、人形劇等の公演
16	子育て支援ボランティアグループ らこんて	就学児童対象子育て支援	週五日制事業、あそびの会等にボランティア派遣、勉強会、講演会の実施
16	城原っ子わくわく塾	学校週五日制に伴う文化・スポーツ活動事業	文化・スポーツ活動、地引き綱、ハイキング、高齢者との交流活動等
16	ちびころひろば	子育て応援事業	講演会、ワークショップ、親子遊び、演劇鑑賞
16	西区子ども会育成連合会	地域づくりはリーダーづくり	リーダー研修会

4 防犯、防災の活動

年度	団体名	事業名	事業内容
16	石丸パトロール隊	石丸パトロール隊	非行防止パトロール、有害環境調査、危険箇所調査、講習会
16	小戸三丁目三区防犯クラブ	地域防犯活動推進事業	地域パトロール、交通安全誘導、安全に対する勉強会の開催

5 福祉に関する活動

年度	団体名	事業名	事業内容
16	ぱりあふりーコンサート実行委員会	バリアフリー文化活動事業	手話交流事業、共同作業所との交流、コンサートの開催
16	福祉を考えるたんぼの会	安心して暮らせる地域にしたいな事業	ふれあいコンサート、ボランティア入門講座、広報紙発行

6 調査研究、その他のまちづくりに関する活動

年度	団体名	事業名	事業内容
16	姪浜校区「住みよい町づくり」事業実行委員会	姪浜校区「住みよい町づくり」事業	歴史散策とウォークラリー、環境美化と餅つき大会
16	戸切まちおこし振興会	住みよいまちづくり事業	青少年に盆踊りの継承、稲作・しめ縄づくり、虫の観察、もちつき大会
16	城の原団地自治会	ふれあい交流事業	ソフトボール大会、パトロール、秋祭り、茶話会
16	姪浜駅南自治会	住みよい姪浜駅南地域のまちづくり	環境美化活動、防犯・交通安全活動、ホームページの開設による地域情報の発信
16	北崎を考える会	北崎花の郷づくり事業	休耕田への花植え、演芸講座、道路沿いへの花植え
16	横浜地区すみよい町づくりの会	横浜地区すみよい町づくり事業	三世代ふれあい広場、子ども学習会、視察研修、清掃活動
16	すみよい今津をつくる会	住みよいまちづくり事業	福祉交流事業、フォーラムの実施、広報紙発行、自然保護事業
16	愛宕浜シーラブクラブ	海浜を愛するまちづくり事業	キャンプ、カヌー・ウィンドサーフィン講習会、海浜の清掃、野鳥観察会

- a 余暇を楽しむ場所

名称	概要	所在地
今宿野外活動センター	高祖山と叶岳の山その広大な自然を活かした施設です。清らかな溪流と緑の樹林にかこまれ、子どもからお年寄りまで、自然と親しみながらハイキングやキャンプなどの野外活動が体験できます。 また、眼下には博多湾や能古島などのすばらしい眺望が楽しめます。	西区今宿上ノ原217-2
今津リフレッシュ農園	都市と農村の交流を図りながら、農業の活性化と健康でゆとりのある市民生活に寄与することを目的とした、新しいタイプの大型市民農園(7ヘクタール)です。 市民の方々には、野菜や花などの栽培体験を通して、農業への理解を深めながら、生きがいづくりやレクリエーションなど気軽にご利用いただけます。	西区今津5685
小戸公園	美しい海岸線と白砂青松の景観を残し、広大な芝生広場を有する安らぎのある公園です。神話の世界では伊邪那岐の神がみそぎはらいをしたところとされ、神功皇后伝説の中の御膳立や安産石があります。幕末には外国侵入に備えた砲台が築かれました。	福岡市西区小戸2丁目1855-1外
カブト虫農園	カブト虫をより自然に近い形で採集することができます。オオクワガタの販売や飼育の指導も行っています。(入園無料 6月から8月まで営業)	西区大字宮浦
杉能舎酒造資料館	130年前の酒蔵を改修した酒造資料館。昔ながらの「酒ふね」の展示や、醸造行程を分かりやすく説明したパネルで、日本酒造りの不思議さを実感できます。	西区元岡1442
のこのしまアイランドパーク	花と緑の自然公園。四季折々の花が目を楽しませてくれます。広さ15万㎡の園内にはアスレチック、のこのこボール場や博多の古い町並みを再現した「思い出通り」などがあります。 また、一戸建てのロッジでの宿泊もできます。(入園有料)	西区能古邯鄲1624-61
能古島キャンプ村・海水浴場	キャンプ村にはヤシの木が茂りまるで南の島のように。海の家や22棟のバンガローがあり、テントや炊事道具などの貸し出しも行っています。(5月～9月オープン)	西区能古
能古博物館	大型廻船模型、古地図など能古の島の歴史・民俗資料や儒学の筑前亀井学資料を展示している島の博物館です。 別棟の現代郷土美術館には能古出身の画家多々羅義雄の絵画なども展示。(入館有料 12～2月は休館)	西区能古522-2
能古夢珈琲園	約1,000坪の大温室の中にブーゲンビリアやハイビスカスなどの南国の花々、果物の木々、コーヒーの木を栽培しています。(入園有料)	西区能古284-1
ひた生活領事館インふくおか	大分県日田市のアンテナショップです。梅などの特産品を販売しています。	福岡市西区愛宕浜4丁目1-25
福岡県水産海洋技術センター	センターの前身である福岡水産試験場は、明治31年に日本で2番目にできた福岡県の水産試験研究施設です。現在の施設は平成10年に開所されました。 水産資料館は魚や漁業のことを映像やパネルでわかりやすく展示しています。	西区今津1141-1
福岡市海づり公園	博多湾に突き出た釣り桟橋。マダイの釣り堀もあり四季を通じて多種の魚が釣れます。	西区大字小田字池の浦地先
マリノア・マリノアシティ福岡	ヨットやボートの係留施設のほかにレストランやショップなどが備えられた市民が誰でも利用し楽しむことができる新しいマリノアシティ福岡です。 隣接するマリノアシティ福岡には、アウトレットモールや観覧車などがあり、県内外から多くの人が訪れています。	マリノア 西区小戸2丁目11-1 マリノアシティ福岡 西区小戸2丁目12-30

市民活動紹介

ここでは、西区まるごと博物館企画・実施ボランティア(仮称)のメンバーが行っている活動及び活動団体を紹介します。

アートinすせんじ街ごと美術館実行委員会

<http://www.susenji.com/>

商店街を中心に、まちをひとつの美術館に見立てた展覧会を年に1回開催しています。近郊に在住している人の趣味の作品などの展示を行い、発表の場を作るとともに、見に来てくださった方に心の安らぎを提供しています。

15年度より、コスモスの開花時期に合わせて開催し、また、地元の高校生の参加も得て、取り組みの輪を広げています。

愛宕浜シーラブクラブ

元気なシニアが海でのレクリエーションやスポーツを子どもたちに教え、海とふるさとのすばらしさを伝えていこうと、カヌーやウィンドサーフィンの講習会と、海浜・海中の清掃に取り組んでいます。

講習会では、子どもたちが自分で判断し、行動できる人になることをめざし、手取り足取り教えるのではなく、子どもたちの自主性を大切にするように心がけています。

飯盛山を愛する会

荒廃する森林の保護などを目的に市が登山道や駐車場を整備した「飯盛山ふるさとの森」の開設に合わせて結成し、山を守る活動を続けています。登山道にアジサイを植えて毎年登山会を開催するほか、バードウォッチングや自然観察会、カブトムシの飼育教室などさまざまな催しを実施しています。

多くの人に、飯盛山と森林のもついろいろな機能を知ってもらい、自然のすばらしさを体感してほしいと考えています。

今津人形芝居保存会

160年余りの伝統を持つ郷土芸能「今津人形芝居」(県指定民俗文化財)の継承活動を展開することで、子どもにも大人にも、郷土に誇りをもってもらいたいと考えています。

平成9年から毎年9月第1日曜日に、公開事業登志宮公演会を校区内外に案内し、登志神社境内に野舞台を特設して、恵比寿座の披露上演と後継者育成会の子ども発表会を実施しています。また、要請を受けての上演や、人形芝居サミット・フェスティバルへの参加にも取り組んでいます。

十郎川の自然を楽しもう会

地域を流れる十郎川は、メダカや県指定天然記念物ツクシオオガヤツリ、カワセミ、マガモなど多くの生き物が生息する自然度の高い川です。しかしながら、都市型河川へと移行するにつれ、川の中のゴミが多くなり、増水時や景観面でも好ましい状況とはいえません。

この川の環境を将来へ残すため、私たちの会は流域に住む方たちの参加を得て河川清掃を年2回行っています。また、マナーやモラルの向上を目指して、多くの人々が十郎川に目を向けるよう「生き物ウォッチング」などの学習会を開催しています。

名柄川上流域愛護会

名柄川の上流域は、心ない人たちの『ポイ捨てゴミ』によって汚染され、近時急速に『どぶ川』化が進行しています。このまま放っておくと、中・下流だけでなく、博多湾まで死んでしまいます。

そうさせないために、わたし達は上流域の清掃美化活動を推進すると共に、表示板の掲示や川岸通行人へのチラシの配布による『ポイ捨て撲滅運動』を展開し、“モラルの向上”を図っています。

また、環境問題についての学習会・現場視察会などの学習活動と、幅の広い『環境美化活動』を行なっています。

西区市民吹奏楽団

<http://www.nishisui.net/>

西区で吹奏楽の好きな仲間が集まり、週1回の練習と演奏活動をしています。

家族向けのコンサート「ファミリーコンサート」では、音楽とお話、映像などをあわせて演奏するなど、小さな子どもや、曲や物語を知らない人もわかりやすく楽しめるよう工夫しています。また西区近辺の音楽グループとの共演を試みており、一般公募の小学生を含むジュニアコーラスと共演しています。

その他にも、生の音楽に接する機会の少ない地域や施設に出向き、訪問コンサートを行っています。音楽で心温まる素敵な時間を提供します。

西区で第九をうたう会

西区に住む人たちみんなで「第九」(交響曲第九番・ベートーベン作曲)を歌おうと、区内の公民館でコーラスサークル活動を行っている人で実行委員会を立ち上げ、1年間の練習を経て、平成17年1月にファーストコンサートを開催しました。約200人が全員一丸となって歌いました。今後も、セカンドコンサート、サードコンサート・・・とみんなで歌う「第九」をつなげていきたいと考えています。

歌うことを通して、地域住民の連帯を高め、地域が活性化することを願っています。

西区歴史よかとか案内人連絡協議会

現在福岡市の副都心として発展目覚ましい西区、この私達の住む町は、昔はどんなところだったのでしょうか。

西区は博多湾の入口にあって、古代から海外との交流窓口として栄え、縄文時代の遺跡をはじめ弥生時代、古墳時代、中世、近世と日本の歴史の流れに沿った各時代の史跡や民族が、そこここに点在しています。

古代人の生活を知る上で大切な貝塚、その地域を支配した人の墓である古墳、生産の場であった石斧跡や製鉄遺跡、お坊さんが開いたお寺、蒙古襲来の時の史跡、また農村、漁村あるいは神社に残る伝統行事、とにかく西区は「歴史の博物館」です。私達は自然美豊かで、数多くの史跡を持つ素晴らしい西区と一緒に歩いて、健康づくりと楽しい会話で、この文化財、伝統行事を幅広く紹介するガイドの実施をしています。

また、ガイド養成のための研修も毎年行っています。

姪友会

<http://www2j.biglobe.ne.jp/~aki/meiyu/meiyu.htm>

姪友会は地元の発展に貢献しようと結成された慈善事業団体で、姪浜を拠点とし、経済発展、歴史文化伝統の継承などの手助けとなり、新しき風を起こす原動力となることを常に求めて活動しています。

姪浜地区の名所に案内板を設置したり、姪浜とその周辺の昔の姿を写した写真で綴った郷土写真集を作成し、好評を得ています。

また、毎年夏には花火大会を姪浜で開催しています。

横浜地区すみよい町づくりの会

地区内にある国の史跡(今山遺跡)の保存と景観の美化清掃に勤め、郷土の歴史と史跡の理解を深めながら、老人から大人子どもの誰でも気軽に楽しめる憩いの場に再生し、三世代のコミュニティを活性化しようと活動しています。

清掃活動や雑木枯木の伐採、下草刈り、根ざらい除草、植樹などに多くの住民が汗を流しています。

また、子ども向けの学習会なども開催しています。

私の街のロビーコンサート

私たちは、市民の方々が気軽に音楽にふれあう場をつくるため、区役所の玄関広場で様々なアーティストによるコンサートを開催しています。また、西区に在住するアーティストの発表の場をつくるため、幼稚園やお寺、福祉施設等で手作りのコンサートも企画しています。

音楽を通じて、文化の薫り高くすみやすいまちづくりに寄与したいと考えています。

NPO法人エコネットふくおか

<http://www.econet-fukuoka.com/>

NPO法人エコネットふくおかは、福岡市より委託を受けて、「臨海リサイクルプラザ」(東区)を中心に市民感覚を活かし、環境に配慮した活動を行うボランティア団体です。ごみ減量と循環型社会をめざして、フリーマーケットなどのイベントや、リサイクル教室、出張講座の実施など、様々な活動を展開しています。

現在、市民の手によって、身近な環境を世界共通のアイコン(絵文字)であらわした地図を作り、身近な生活環境の良い所や悪い所の情報を共有し、まちづくり活動やエコツアーの実施、他都市との交流などを行う「グリーンマップ」の取り組みを東区で展開しています。

【グリーンマップアイコンの例】



渡り鳥飛来地



駐輪場



博物館・環境学習施設



コンポスト



公共の森と自然のエリア

NPO 法人 シニアネット福岡

<http://www.seniornet.or.jp/>

西市民センター主催の熟年セミナー「情報発信コース」に参加したメンバーの有志が、シニア世代の生きがい作りや仲間作りのためホームページを立ち上げたのが始まりで、その後、愛宕浜にある「おおやま生活領事館 in 福岡」(現「ひた生活領事館 in 福岡」)の一角に本部を開設し、2001年8月、NPOの認証を受けました。(現在は中央区に本部があります。)

インターネットを通じて次のような目的をもった活動を展開しています。

- ・会員の生きがいづくり・仲間づくりを支援し、心豊かなシニアライフを推進する。
- ・健全な町づくりや次代を担う子どもたちの育成に、シニアの経験と知恵を生かし、住みやすい社会環境づくりに寄与する。
- ・他都市・他地域との交流、また国際交流を推進し、お互いの理解や親睦を深める。

西区まるごと博物館企画・実施ボランティア(仮称) 第1回会合(ワークショップ)まとめ

開催日時 平成17年1月27日(木) 19:00~21:00
場所 西市民センター 第2会議室

西区の様々な魅力資源 = 「宝」を、市民と行政の共働によりみがきあげていく「西区まるごと博物館構想(仮称)推進事業」。この事業は、西区基本計画に基づいて西区が重点的にすすめる事業のひとつです。昨年12月に、西区の魅力さをさらに高めていくための事業の企画・実施を、西区役所とともに推進していただくボランティアさんを公募したところ、西区をこよなく愛する29名の方に応募いただきました。

本日、晴れて第1回目の会合(ワークショップ)の開催です。25名の方が参加されました。

今日のテーマ 「私が大切にしたい西区の宝」をみんなで共有する

- 目標 自分が考える西区の宝をみんなに伝えるとき、他の人の考える西区の宝を知り、今後宝の活用を考える際に活かす。
- 目標 メンバーの面識を深める。

1 主旨説明

事務局より、今回ボランティアさんを公募した主旨などをご説明しました。

ボランティアさんには、地域活動や担い手を生み出し、つなぐしくみをつくる核母体となる「まるごと博物館推進団体」に主体的に参加するメンバーとして、区の魅力資源を活用したイベントなど、西区の魅力さをさらに高めていくために行う事業を、西区役所と共に企画・実施していただきたいと考えております。

2 今日の進め方の説明

まずは今日の目標を皆さんで確認しました。
なお、会合をワークショップ形式で進めるにあたり、その特長などをご説明しました。

???ワークショップとは???

会議の進め方の1つの方法です。立場の違う人が集まり、共同作業を通して、それぞれの意見や経験を出し合いながら、合意形成を行っていきます。
通常の会議と比べて、参加者の誰もが自由に意見を言える工夫があることや、紙に書くなどの作業を通じて落ちついて考えをまとめていくことができるなどの特長があります。

3 グループ分けと自己紹介

「袖振り合うも多生の縁」・・・
この集まりで初めてあう方も、そうでない方も、縁あって今後一緒に共同作業を行っていく仲間となります。誕生日をもとに3グループに分かれた後、各グループで「私の冬の楽しみ方」をテーマに自己紹介をしてうちとけていただきました。
終わりがけには、どのグループも話が弾んで、笑い声があがっていましたヨ。



4 クイズ「西区まめ知識」

西区にながーくお住まいの方もたくさんいらっしゃいましたが、改めて西区の特性を確認する意味で、あえて西区に関する3択クイズを実施し、グループの成績を競いました。



問題の「超」要約と回答

- ・西区の2015年までの人口増加数の推計値は？ (約3万5千人)
- ・九州大学新キャンパスへの総移転対象人数は？ (約1万6千人)
- ・小呂島への姪浜からの航路距離は？ (約40km)
- ・1月11日にオープンした「西区子どもプラザ」の愛称は？ (とことこ)
- ・北崎地区の唐泊で養殖され販売されているマガキのブランド名は？ (唐泊恵比須がき)

1位:グループ「達人チーム」 2位:グループ「名人チーム」 3位:グループ「凡人チーム」

・・・そして、おひとりだけ全問正解者がいらっしゃいました。達人チームの西さん(ニックネーム)です。スゴイ!!

今日のメインプログラム

5 「私が大切にしたい西区の宝」をみんなで共有する

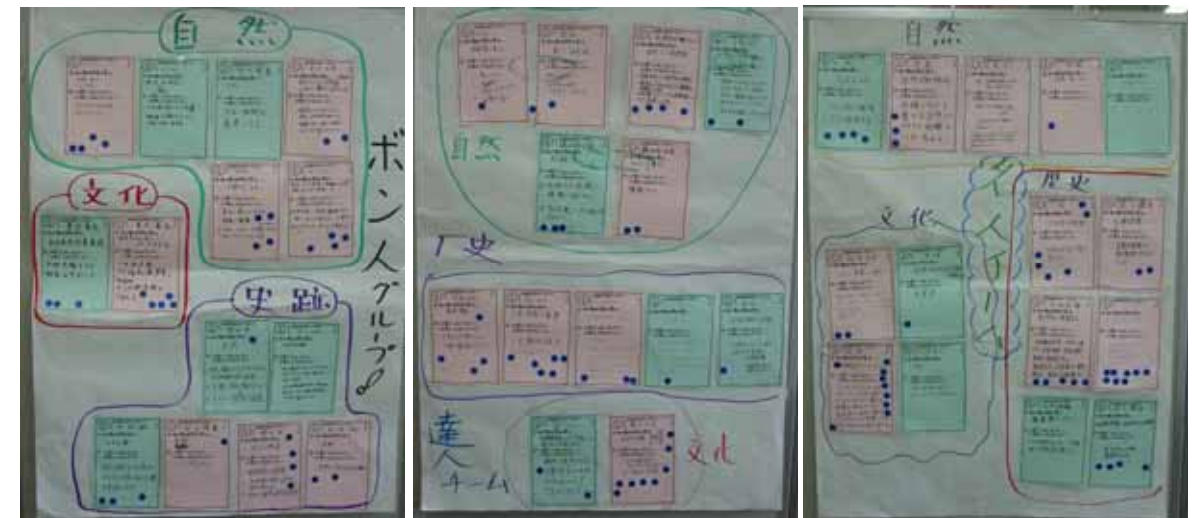
ひとりに2枚用意されたカード。そこには、次の内容を記入していただくようになっています。まずはひとりでじっくり記入していただきました。必ずひとり1枚は記入していただく約束にしました。

*私が考える西区の宝は・・・
*この宝でこんなことをしたい・・・
この宝をこんなふうになりたい・・・

記入が終わったら、各グループ内で1枚ずつカードをみんなに見せながら内容を発表します。

他のメンバーが、自分の考える宝と近い内容の宝を発表する場合もあれば、全く違うジャンルの宝を発表する場合があります。いずれの場合も、話がどんどん盛り上がっています。「へー、知らなかったー。」という驚きの声、「そうなんですよ!」という共感の声などなど・・・今日のテーマの重要な部分である「宝の共有」が進んでいました。

その後、模造紙にカードをはり、内容の近いものをまとめてグルーピングしました。どのグループも、「自然」、「文化」、「歴史・史跡」という3つのジャンルにグルーピングされています。



内容は裏面に

6 グループ発表

各グループからひとりずつ代表の方に出していただき、簡単に内容について説明していただきました。



7 投票

グループ内での宝の共有はできましたが、他のグループについては不十分です。

そこで、全てのカードの内容を読む時間を設け、各人5ポイントの持ち点で、より共感できるものに投票していただきました。この投票結果だけで、今後行う事業を決めるものではありませんという前置きで、あくまで「宝の共有」のためです。

もっとも高い共感を得たのは、りえちゃん(ニックネーム)の「街角のミニコンサート」という宝でした。



次回の会合は・・・ テーマ:「ボランティアさん憲章(仮称)」を決める
日時:平成17年2月22日(火) 19:00~21:00 場所:西市民センター第2会議室
平成17年2月24日(木) 19:00~21:00 西市民センター第2会議室
(同じプログラムを2回開催しますので、ご都合のいい方にご参加いただけます。)

各グループの模造紙（カード）の内容

	1 凡人チーム		2 達人チーム		3 名人チーム	
	私が考える西区の宝は	この宝でこんなことをしたい この宝をこんなふうになりたい	私が考える西区の宝は	この宝でこんなことをしたい この宝をこんなふうになりたい	私が考える西区の宝は	この宝でこんなことをしたい この宝をこんなふうになりたい
自然	きれいな室見川	・室見川の鳥や魚を観察 ・源流から歩いてみる	室見川その他の野鳥を増やしたい(今津湾を含む)	野鳥が増えるということは水がきれいで、彼等のえさが適度にあるということ。なかなかむずかしいことですが。(和白は確実に減りつつあります。)	室見川水系	河川公園の整備(自然環境保全)
	室見川のアユ漁の再生(現在は上流で一部の人しか楽しんでいない)	室見川をアユが住める川に再生し150万都市の宝にしたい。戦前のように一般にも開放しアユつりを楽しめるようにしたい。	名柄川	・名柄川上流域で錦鯉を飼いたい。 ・子供達に水遊びをさせたい。	今津湾の自然を守る	
	十郎川です	・魚すくいなどの川遊び。 ・野鳥の観察 カシ、ヨシキリ、サギ類、セキレイ、たまにナベヅルもいます。	海岸線の美しさ	・美しくする。 ・遊べるようにする。 ・生物を育てる。	海 未開発地域 (いなかっばい)昔からの歴史的なもの	自然の中で遊ぶ人と人との交流。いつまでもきれいな自然をそのままに。(人が集まるとにぎやかで、ごみが出たり汚染されることもあるが…そうならずに楽しめるイベント)
	姪浜から今津湾に北崎までの自然あふれる海岸です	・今津干潟で野鳥を観察できる場(シェルターのようなもの)で説明 ・シーカヤック、カヌー、ヨットでの見学ツアー	美しい海岸線	・西区の海岸ウォーク ・水質等の保全 ・ごみひろいウォーク	自然の動植物	保護しながら豊かな自然に対する認識を一層高める
	環境浄化施設	下水道西部ごみ工場等で環境問題をテーマに自然を守る見学会	自然と歴史の探訪	・史跡めぐりと旧町名のほりおこし ・野鳥(バードウォッチング)の観察と図鑑の作成 ・子供達とグループで探検隊を作り宝探しをする	自然、海、山	
	自然	各家に植樹を義務づける	かぶとえび	増殖したい		
歴史 史跡	吉武高木遺跡	市で整備が進められているがスピードアップしてドーム型の展示場をつくる。(市で計画)地下鉄橋本駅から近いし完成後は毎日ガイドさんが常駐。修学旅行にも来てもらえるようにしたい	古代史(歴史)の宝庫	・古墳めぐりコース選定 ・吉武高木遺跡の早期整備 吉野ヶ里のような歴史公園に!	吉武高木遺跡	耶馬台国の夢を見たい
	小戸公園	古代と現代が同居する山と川と海のある公園を全国にPR	元寇防塁史跡と松原海岸	元寇防塁ロード 生の松原～今宿海岸～長浜海岸 岬と砂浜海岸の交互に存在。地形学で云うトロンボ地形の景観美(自然美のハーモニー)。松原の美しさ	小戸公園(小戸大神宮)	小戸公園内に西区独自の博物館を作りたい。また当地の歴史を皆さんに広めたい
	元寇防塁	・駐車場の設置 ・生の松原の場合、小戸から橋を架ける ・行き順路、案内板設置	能古島(オノコロジマ)神話	日本国を生み神話誕生の地形にふさわしい地形。 能古の島、柱島、相ノ島、小呂島などの存在。小戸、青木(櫛が原)の存在	元寇防塁	香椎迄連結した想像図やジオラマの作成
	史跡	史跡で知る西区の歴史	歴史、遺跡	・歴史ガイドを続けたい ・行事への参加者をふやしたい	毘沙門山に展望台を	西区基本計画、3枚の写真の下長浜海岸、糸島平野、東面に展望台を作り福岡市内今津湾を望む場所。荒材は準備中
	史跡	・市民の誰でもが行けるよう順路案内板の設置 ・子、孫に語り継ぎたい ・トイレ、駐車場の設置	歴史、遺跡の宝庫	歴史博物館をつくりたい	毘沙門山の眺望	毘沙門山山頂に展望台をつくる
	史跡	トイレをつくりたい			観鳥橋を河口に	河口を部分浚渫し、干潮時でも野鳥と楽しむ
文化	西区市民吹奏楽団	行政支援からの独立のサポート	音楽系の財産(市民)吹奏楽団、オーケストラ音楽	・九大生も巻き込んでキャンパスでのフェスティバル ・また大陸との文化交流	人と音楽と自然	西区の緑、水と自然あふれる中に今、この地域には多くの方が住んでいます。子供の数も増え、この人と人とのつながりをコンサートなどの形で音楽や心でつなげていきたい。
	西区フィルハーモニーオーケストラ	「行政支援、やるき応援事業」からの独立時のサポート	朝鮮半島から大陸への窓口(玄関口)	横浜、神戸のような中華街をつくれなかな～。 大学もくるので...	街角のミニコンサート	今50才ですが60才70才80才になっても我が街のどこかで、きがるに聞ける音楽が流れているといいですね。(生で)西区に限らずいろんなジャンルの音楽にふれてみたいです。もちろん自然の中でも。
					地域でのコンサート企画(活動)	音楽祭
				文化	いるんな団体があるが一つになって何か出来れば...	

この成果は、今後具体的な事業を皆さんで考えていく際に活用します！

第2回ボランティア会合で出された構想(案)に関する意見のまとめ

会合後に文書でいただいた意見も含まれます。

1 推進団体の役割、目標		憲章にまとめています
1	次の世代に伝えたい宝を見つける。	
2	宝を楽しく伝える。	
3	新しい宝の創造、発掘	
4	郷土の歴史の理解と認識を深める。	
5	何でもものしり殿堂。	
6	地域住民のみならず、各地から遊びに来てくれるような行事を企画・推進する。	
7	誇れる地域づくり。	
8	郷土愛を涵養する。	
9	一地区(校区)、一魅力の創世。	
10	地域住民の憩いの場をつくる。	
11	三世代のコミュニティの活性化を推進する。	
12	「宝」をすでにみせてみがいしている組織の方々を知り、コミュニケーションを図る。	
13	地域活動している方々との交流を持ち続けていき支援する。	
14	各ボランティアの方々が持っておられる物やノウハウをできるだけ多く知り、伝える。	
15	行政と地域住民との接点(中継ぎ)の役を自覚する。	
2 構成員の心構え		憲章にまとめています
1	ボランティアは楽しくやれることが基本。	
2	健康第一、楽しい活動。	
3	ボランティアさん自身が楽しく、生きがいを感じるような、元気いきいき、老い知らずが目標。	
4	P.P.Kで(ピンピンコロリ)一生を過ごせるように皆で楽しむ。	
5	やって嬉しい、生きがい、協同研究。	
6	ボランティアと言えど時間もお金もかかるので、個人の負担が重すぎないように、無理なく楽しみながらできないといけない。	
7	健康で元気。好奇心を持っている。	
8	健康第一をモットーとしたい。	
9	ボランティア活動を行い多くの人に役立ち喜ばれ自分自身喜びたい。	
10	他の人が喜んでくれることで自分もうれしいしエネルギーをもらえる。	
11	公平・中立・個人の利益を考えず。(市民のためと自分が楽しむために)	
12	ボランティアについて無料参加の精神。	
13	奉仕の気持ちを忘れずに。	
14	giveのみでtakeは考えるべきではない。	
15	西区を魅力ある街にしたいという気持ちを絶えず持っている。	
16	自由、わがまま。	

3 仲間との接し方		憲章にまとめています
1	何事も良い思えば進んで、また、人に声かけ仲間作る。	
2	一人はみんなの為にみんなは一人の為に。	
3	自分が楽しいことは人も楽しく、自分が嫌なことは人も嫌である。	
4	人がしてくれたことには全て感謝の気持ちを。	
5	今からつくり上げて行くものであることを十分認識しお互いの批判的発言は極力慎む。	
4 組織の理想像		憲章にまとめています
1	仲間づくりの中でも一方では人材を常に探していく。	
2	常にボランティアさんを募集する。	
3	ボランティアへの参加のよびかけ。だれでも入りやすい組織作り。	
4	次の世代の人、グループを育てやすい組織にしたい。	
5	若い人の参加の呼びかけ。	
6	様々な年代の人々に呼びかける。	
7	ボランティアの任期があったほうがよい。	
8	継続は力なり。	
9	楽しい会合の運営が重要視される。それが長続きの要点である。	
10	欠席しても「ごめん」で良しとする。	
11	参加できる時に参加すればよい。あまりガチガチのルールは作らない方がよい。長続きさせるために。ただし、情報(打ち合わせ内容などのまとめ)は共有する工夫がいる。	
12	成果や結果がホームページなどでいつでも見られたらいい。	
13	ウェブシステムが充実されれば、市民の満足度は高くなる。	
14	長期間にわたり継続していくには、生きがいを楽しみつつ各人が時間的、経済的に負担とならないような方策を考える必要がある。	
15	ボランティア(社会貢献)を継続していく為には交通費等お金がかかる。労力は提供するが交通費の支給を。	
16	活動するには少々の予算金が必要、自己負担も大変だ。	
17	ボランティアと聞くと無料奉仕と考えがちであるが、長期間継続するには、弁当代、交通費など手当てできる収入面も考慮できる憲章でありたい。	
18	資金づくりの明確化。	
19	資金づくりとしてボランティアさんから会費、広告取り、バザーなどの取り組みを行う。	

5 構想への意見	意見に対する対応
<p>1 「まるごと博物館」を辞書で引くと、まるごと…増減することなく、元の形のままとりいれることを表す。 博物館…もとは生物学、鉱物学、地質学の総称である博物学の関係資料を系統的に集めて並べ、一般の人々に見せる場所 現在の情報化の時代を考えると、ちょっと「静」に感じます。もう少し「動」を持たせてみてはと思います。</p>	<p>「動」を持たせる」というご意見が、具体的にどのようなことをイメージされているのかわからないので、明確に答えられませんが、構想は、区の宝に関する情報提供と提供だけでなく、プラン2「西区で動こう」の中で、宝を活用した事業の実施を行うなど「動く」という部分について記載しております。</p>
<p>2 推進団体とネットワーク会議の関係がわかりにくい。</p>	<p>ご指摘をふまえて17ページに加筆しています。</p>
<p>3 この会の置かれた意義が、わからない点があるので位置づけが必要である。</p>	<p>ご指摘をふまえて14ページに加筆しています。</p>
<p>4 「大学」が、「宝」であるワケをわかりやすく解説する必要があると思う。特に平成17年10月、九州大学の移転がはじまり、大学と共働した活動が重要性を持ってくるので、その点の記述が必要。</p>	<p>ご指摘をふまえて1ページに加筆しています。</p>
<p>5 「西区の『宝』をもっと輝かせるために」の章の各タイトルは、「宝」を「市民」「行政」がどうするか観点から、「宝を見(魅)つけよう」「宝を磨(魅学)こう」「宝を伝えよう」としたらどうか。</p>	<p>せっかくのご提案ですが、「宝を伝えよう」の部分が、宝を磨く市民の活動をネットワーク化するという内容に合致していないので、現状どおりとさせていただきます。</p>
<p>6 もっと西区の宝について具体的に場所や自然等を早く特定して構想への提案を促進するべき。</p>	<p>この構想は、多岐にわたり存在する西区の宝を、市民と行政が共働してどのようにして磨くかの方法を中心に書いております。何か特定の宝を具体的にどうするかということは記載しません。 具体的にどの宝をどうするかは、毎年度、推進団体の会合で話し合っ、決めていきます。その方が、その時々状況に応じて、機動的に活動ができると考えるからです。</p>
<p>7 具体的な提案の必要性(核心である)創造的発想の大切さ、その深化。活性化への影響(選択性と予算化実施)</p>	<p>具体的にどの宝をどうするかは、毎年度、推進団体の会合で話し合っ、決めていきます。その方が、その時々状況に応じて、機動的に活動ができると考えるからです。</p>
<p>8 プラン1については、収集するお宝についてある程度の知識をもった「学芸員」のような人材が必要になってくる。(1)のWEB開設において、区民が発見したお宝は自由度を持たせることが大切だが、情報の体系化の中で学芸員さんの目で検証する必要もある。また、(2)各種プロジェクトについても、地域・学校等とのタイアップが記述されているが、子どもたちの取り組みをサポートする「学芸員」が必要になってくると思われる。学校とのタイアップは、学校は忙しいので、早めの対応とモデル校指定などで学校全体が取り組める状況を早めに作ったほうがいい。</p>	<p>WEBについては、当面は区が管理するもので、市民からの情報提供も区に対して行われるものであるため、区の担当課は、情報提供のたびにスピーディーに判断をして、掲載可否の決定しなければなりません。将来的に、WEBの管理が区を離れると、提案いただいている内容のような展開ができるものと考えます。 WEBを活用した学校と地域のタイアップの場面では、テーマに応じて、推進団体のメンバーをはじめとして、そのテーマで活動をされている団体に学芸員としてお手伝いいただくことがありと考えております。</p>

9	<p>昔の人が住んだ環境は、自然に恵まれ、災害が少ないなど、生活がしやすく、水、食糧、燃料となる木々が豊富で、外敵を恐れる心配のないところだった。しかし人が増えてくるとものの奪い合いが起こり喧嘩、争いになる。しかし、人間には知恵があり、人々のふれあい、出会いがあって、ともに楽しめる文化が生まれる。そしてそのことは一本の線に繋がる。ワークショップの3つのジャンルの宝(自然、歴史、文化)は、一本の線で結ぶことができ、市民がひとつになってこの宝を磨くことができると歴史の延長線上からそのように思っている。</p>	<p>ご意見のとおりと考えます。</p>
10	<p>西区まるごと博物館への参加の意義。市民の意見の反映が大切である。</p>	<p>ご意見のとおりと考えます。</p>
11	<p>年齢的にも、10年先を目標にするのがちょっとしんどい。短期決戦で結論を出したい。</p>	<p>推進団体が企画・実施する事業については、年度ごとに何をするのか話し合って決定し、随時実施していきますので、その意味では短期的に一定の成果を出していけるものと考えています。そして、年度ごとの成果の積み重ねが、長期的な成果のひとつになるのではないかと考えています。</p>
12	<p>区民に対する要望も憲章に入れるべき。ウォーキングや散歩等が多くなってきたが、目に余るルール違反がある(他人の畑の野菜・花などを盗む)</p>	<p>意見9に書かれていることともつながりますが、宝を磨くことは、人々の交流の促進につながり、究極的にはその交流で顔の見える関係ができ、相互理解を深め広げていくこととなり、マナーアップにもつながっていくと考えています。憲章には、その理念を書いています。</p>
13	<p>運営の中に市民と行政の関わり方を明確に。</p>	<p>まるごと博物館構想(仮称)推進事業は行政と市民・推進団体が共働して進めていくものです。</p>
14	<p>継続するのは難しい。行政からの応援がほしい。</p>	<p>構想では、将来的には、様々な宝を活用した事業の企画・実施で培ったノウハウを活かし、より専門性や柔軟性を発揮した事業展開となるよう、行政から独立して活動をする団体に発展していくことを想定しています。そのため、行政の関わりは段階的に小さくなっていきます。</p>
15	<p>創生期はみんなのパワーがあり盛り上がるが、年月が経つと活動停滞が懸念される。</p>	<p>活動が停滞しないように、無理のない形で堅実に小さなものでも成果を積み重ねていくように進めていければと考えております。また、誰でも参加できる組織づくりも必要と考えます。</p>
16	<p>今からの事業で多くの人が集まるよう工夫実践し、継続するよう官民一体となって活動する、私も率先して参加し、楽しく活動したいと思う。</p>	<p>よろしく願いいたします。</p>
17	<p>構想の中身がシニア向けだけになっている。子どもたちもわかるような内容のものをつくったらどうか。</p>	<p>作成を検討します。内容についてアイデアをいただけるとありがたいです。</p>

6 具体的な組織運営、進め方

1	分科会を作ったら良い。
2	ジャンル別に班を分ける。(例:自然・文化・歴史)
3	ジャンル別にする。それぞれ得意分野の中で活動することが出来る。
4	ジャンル別、地域別の小グループで(3,4人)で自由に討議するのがいい。
5	ある程度、総論を討議したら分科会に分かれる必要がある。誰が何に興味があるのか分からないので非常に話しにくい面がある。
6	活動の範囲を決めた方がよいのではないか。(例1:趣味 2:得意、専門的)
7	楽しく活動するため週別、曜日別、年齢別、地区別で会合したい。
8	自然・歴史・文化それぞれで立ち上げて後で結びつける。
9	「自然」「文化」「歴史・史跡」と3つのグループに分けて、活動する。各グループから2~3名の代表を選出し組織の運営にあたる。(企画部)
10	半年間位はみんな一緒に。その後は1ヶ月ごとに自然、文化、歴史などのグループに。
11	自然、史跡、文化3つをまとめた年間スケジュール作成。
12	自然、史跡、文化各グループより1,2名世話役を選出。
13	活動する為には連絡場所、お世話役が必要。(事務局)
14	まとめ役、リーダーの中心になる人材グループ分け。連絡係りなど選出、育成。
15	運営組織は区民(7名)+役所担当(3名)くらいが適当。区民(7名)はいかなる団体にも所属しない人が望ましい(エゴがでないよう)。
16	推進会議の組織の形は、事務局と全体会議があり、全体会議の下に準備分科会(歴史、自然、文化、その他からなる)、学芸員養成準備会、ネットワーク準備会からなる準備会議とする。全体像を見据えながら同時並行で考える方が、スピードとアイデアが生まれる。議論していくうちに必然的に関連づく。
17	全員が会長、議長、またはボスとなるつもりでピラミッド型ではなく有機体型に。
18	推進団体はよかると案内人を中心に各校区から補強。
19	ある程度の組織の形は必要であるが、まず何をするか、それは誰がやるのかから組織が型つくられるのではないかと考える。
20	夜間の2時間位の会議で推進できるか疑問。本格的な協議では参加人員をしぼり、協議時間を延ばして話し合う必要がある。
21	17年度は事業をしぼって試験的に行い、その結果を検討して本格的事業に取り組むべきではないか。
22	西区全体で一気に、というのは、難しいので、モデルケースをつくり試行した方がいい。
23	情報の収集の手段、方法、検討をする。
24	ボランティアメンバー内での勉強会の実施。
25	勉強の場をもうける。
26	西区全体を知る勉強。
27	郷土の歴史の勉強をして説明できるようにする。
28	グループがしたいと思う事に詳しい方の協力を受ける。
29	ボランティアの服装を揃え一目でわかる様に。参加者の安全を第一にわかりやすい説明。

7 具体的な事業アイデア

1	会員一人一人が宝についての構想を発表する。
2	史跡への道標作りをしたい。ハード(道標板作り)は市で設置等労力はボランティアが。
3	部門別に各地にある「宝」の一覧表を(解説、管理者入り)
4	各地区ごとの散策マップの作成、博物館Webの開設
5	博物館めぐり散策会の開催
6	西区全体の名所旧跡や伝統行事等を紹介するビデオを作成する。
7	民俗行事等をビデオにして保存する。
8	民俗芸能発表会の開催(西区文化祭の一環)
9	遺跡の保存への協力。
10	遺跡の公園化への基盤づくり。
11	自然破壊につながることは極力避ける。田んぼの温存、山林の保護。
12	景観美化(清掃)活動をする。
13	アダプトプログラムを取り入れてはどうか。
14	まるごと博物館案内所を区役所内に設置する。
15	西区文化財展を市博物館で開催し、指定文化財を展示する。(飯盛神社だけでも、狛犬、装飾台付き子持ちはそうなどがある)
16	小戸公園一帯を神話のふるさととして博物館か地域資料館を建設し、文化財や伝統工芸品の展示、町の変遷のパネル写真の展示、区内の歴史や名所旧跡の紹介、農業、漁業、商業の変遷の紹介、西区の伝説、伝承、民話等の紹介などを行う。
17	現在行われている小戸大神宮大祭を区民全体で盛り上げる。
18	小戸公園一帯に花と緑を植樹する。
19	小戸公園内に音楽堂を建設する。
20	ヨットハーバー、スポーツ広場、資料館、音楽堂等の複合施設に。(小戸公園)
21	西区祭りを小戸公園で開催してはどうか。
22	小戸大神宮、元寇防塁、壱岐神社、一の宮神社、二の宮神社、白鬚神社、長垂山等、アワギ原(今津湾)の歴史探訪ツアーの企画推進。
8 その他	
1	今後、会合を重ねるごとに、書類が多くなるので、綴じ込むファイルの配布が必要である。
2	市民の宝(ボランティア活動)を市政だよりで取り上げて欲しい。市政だよりのページ数を増やしても。
3	ネット配信について市政だより等見たくなる工夫。
4	小戸公園に管理事務所の設置。
5	小戸公園は現在、治安が悪化し、小学生一人では立ち入れない危険地域に指定されている。
6	会費制で一度は飲みましょう! ボランティアさん同士の輪づくり。

西区まるごと博物館企画・実施ボランティア(仮称)



第3回会合まとめ

開催日時 平成17年4月12日(火) 19:00~21:00
場 所 西市民センター 視聴覚室

3月20日に発生した福岡西方沖地震のため、3月22日・23日に開催することにしていた会合を、4月12日に延期して開催しました。メンバーの約半分のご参加をいただきました。皆様お怪我などされておらず、元気な顔を拝見できて事務局一同安心いたしました。(^o^)

今日のメインプログラム

まるごと博物館構想(仮称)案について
「西区の宝」みがきのためのこれからの動き方を考える

まるごと博物館構想(仮称)案について

* 構想の名称について

メンバーから提案いただいた構想の名称を紹介し、構想の名称を何にするか、(また別途公募するか)について話し合いましたが、決まりませんでした。構想の名称については、次のような意見がありました。

- ・「自然・史跡・文化」の言葉が入っていると分かりやすい。
- ・「博物館」という言葉は動かない箱のイメージなので、この構想の内容にそぐわない。
- ・逆に西区全体が屋根や柱のない「博物館」という意味で、「博物館」を入れた方がいい。
- ・方言に何かいい言葉があるのではないかなど…

意見をふまえて、再度考えることとしました。

* 「憲章」の内容について

前回の会合とその後お手紙でいただいた意見や提案などをふまえて作成した「憲章」を書き加えました。それを確認していただき、再度意見を出し合いました。

- ・「スタンス」という外来語は分かりにくい。「姿勢」に変更する。
- ・「資金作り」「活動費を調達」という言葉は、そこだけが具体的で生々しい。もっと柔らかく表現した方がよい。「自立」という言葉などを用いて、柔らかく表現する。
- ・「共働」ということを表現すべきではないか。市民と行政の「共働」を表現する文章を書き加える。

* 「憲章」以外の構想の内容について

意見により構想を書きかえたところなどを事務局から説明しました。

「西区の宝」みがきのためのこれからの動き方を考える

これからの動き方として、「自然」、「歴史」、「文化」のジャンルにより、グループ分けをして活動していったらどうかという意見が、前回の会合とお手紙で大多数でした。また、その3ジャンルに加えて「企画や広報」を担うグループも必要と考えられるので、4グループに分かれて活動することについて尋ねたところ、特に異論はありませんでした。

次回他のメンバーの意向も確認してよければ、具体的にグループに分かれてみようということになりました。

また、メンバーどうし顔と名前がなかなか一致しないので、次回、メンバーの顔写真を撮影して、それを入れたメンバー表を作ろうということになりました。

次回の会合は…

5月の中旬くらいに調整することとしました。

なお、「懇親会を開いてざっくばらんに話れば、もっと盛り上がる!!」という声が多数ありましたので、土曜日に会議開催ができれば、その後懇親会(会費制デス)を企画したいと思います。

編集・発行

西区総務部企画課企画係 TEL:092-895-7006 FAX:092-885-0467 e-mail:kikaku.NWO@city.fukuoka.jp